愛國婦人會機關

愛國婦人

每月五日二十日發行

一部定價一ヶ月金六錢半年分金拾六錢全國無郵送料
廣告料一行四拾錢
本誌全部禁轉載
發行所　東京麴町區（牛ヶ淵公園）愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

愛國婦人會の目的は軍人の遺族及癈兵を救護するにあり

電話番町五百二十番

本號には附錄として會務視察員奧村五百子野中彌知子富樫眞喜子手島益雄の肖像を添ふ

社說

◎婦人の體力（二）

人類に於て最も完全なる身體を有せるものは、古代の希臘人なり。希臘人は立派なる身體を有することを、非常の名譽となし、紳士淑女の必要なる資格となしたるが故に、人々爭ふてその發達に努め、運動體操を日々の大切なる仕事となしたり、其結果實に立派なる身體出來上りて、今日彫刻として殘れる男女の像を見るも、優美と力と輕快とを兼ね備へて、見るも心地よきほどなり。或は彫刻は理想的に作りたるものにして、實際には斯る人間はなかりしなるべしといふ人あらんも、そは今日の人間を見ての推測にして、實際斯る人間が住みて居たるなり。即ち實際の人間を手本として作りたるものにして、決して想像にあらず。其身體の釣合、肉の附き工合如何にも、美妙圓滿にして、此上の發達は考ふべからず。而してこは獨り男子のみならず、女子も亦然りしなり。希臘にてもスパルタの婦人は殊に強かりしが、其婦人の身體を稱ふるの句に「如何に汝は美しく、如何に汝の皮膚は生々とし、如何に汝の肉は隆起し、又其胸は何といふ立派さぞ。汝は能く牡牛をも絞め殺さん」とあり。定めて知る、斯る婦人の希臘一流の衣服を纏ふて往來を行きし樣の如何に美事なりしかを。されどこれも今は過去の夢にて、たゞ文句として之を聞くのみなるぞ遺憾なれ。希臘人は衣服は發達せる身體を見するの方便として着けたるなれば、身體が生きて居りしも、今の人、殊に婦人は身體よりも着物に重きをおくが故に、着物が主にて、身體の發育惡しきを以て、身體は方便となり、希臘人の如く身體が着物を着ずして、身體が着物に着られて居るとは、何と情なき次第にあらずや。極言すれば今の婦人の體軀にては、婦人形に着服させたると大差なきなり。こんな事にては、目出度行末かけて丈夫なる子孫の出來んこと、甚だ以て覺束なし。婦人の體格は一日も早く改良發達せしめざるべからず。婦人の往々命よりも大事にする着物は、何の爲めぞと云はゞ、之を着て人に美しく見られんとの心底なるべし。然れども眞の美は着物にあらずして、身體にあり、發達せる身體にあり、自らも其仲間なる婦人はいざ知らず、今の男子は皆さう思ふて居るなり。それを好い積りにて、徒らに衣服を美にして、身體を顧みざることそ氣の毒なれ。着せる體軀が惡くして、何の爲めの美服ぞ。ちと考ふべきなり。要するに婦人が着物の數にて誇る代りに、發達せる身體にて誇ることゝならば、徒らに箪笥に寢かせる爲めの着物が、節約できるばかりにても、全國に積れば、如何程の經濟となるか、實に大したるものなるべし。況んや身體發達すれば、丈夫な立派な子も出來、仕事も大に出來るに於てをや。これ一擧にして兩得以上、是非實行せざるべからず。發達せる身體の道德上に及ぼす影響もまた輕視すべからず。希臘人は美は善に達するの道にして、相去る一歩のみとせり。其例には或る希臘人罪を犯したりとて訴へられ、法庭に於て審判せられし時、辯護士は被告の身體の逞しく發達せる事實を捉へて、斯る美なる身體を有する者が、罪惡を行ふ筈なしとの一點張にて、遂に無罪放免となりたりとの話あり。嘘のやうなれども、希臘にてはありかねまじきことなり。實際身體の壯なるものは、じつとできず、何か働かねば居れぬ故、所謂閑居不善をなすの其閑なく、勢ひ善事を行ふ者なり。人には徒然無爲が精神にも身體にも一番毒なり。身體良ければ徒然無爲で居やうとても居れぬ也。身體は此點からも發達せしめざる可らず。世人は顏さへ好ければそれで美人と思へり。故に美人になりたき又は美人と思はれたき婦人は、皆元氣を採みて顏の細工にのみ憂き身をやつせども、肥の利かぬ花は永持てせず、胴體の發育惡しきに、胴の上に据れる首のみが、何時まで若やぎて美しかるべき。顏を美しくせんとならば、白粉や紅にて外より化粧せずして、熟したる李の內より自と白粉を噴き紅をつくるが如く、身體の營養を好くして、內より美しくせざるべからず。此の方は天成の美にして、顏を洗ふも湯にゆくも剝げる氣遣なきものなり。然るに世の婦人之を取らずして彼れを取る、我等其何の意たるを知らず、篤と一考ありたきものなり。世人のいふが如く美人は顏にありとして、顏以外は如何にと見れば、美人は細腰とて、難產の資格あるもの、又は悄として力なしとて、年中粥を食して元氣のなさ相なるもの、或は皮膚雪白といふよりも、少しく蒼みがゝりて、營養の惡しきか、若しくは不治の大病の素因あるを證するものが、美人として勿體ながるるとは、誠に以て呆るゝの外なし。是から斯る美人の觀念を變へざるべからず。彼等が美人として持囃さるゝ以上は、立派なる國民の出來る氣遣なし。立派なる國民の存するは、彼等のお蔭にあらずして、所謂「美人」ならざりしものゝ賜物なり。「美人」は眞に傾國なるかな。今日の分つた男子は、所謂付きの美人を望まず、身體の發達せる眞の美人を貰ふなり。子孫が大事なればなり。要するに是からの婦人は、身體が弱くては駄目なり。家庭、社會、國家、如何なる立場より見るも、弱くて結構なる婦人は一人もなし。我れこそは天晴れ明治の婦人なりと謂れたくば、先づ身體を發達せしめよ。それにつけても欲しきは、婦人の運動の精神なり。借問す全國の教員、生徒ならざる婦人に、五里の遠足、二里の登山を望む(敢て行ふとまで云はず)もの、若しくはテニスのラケツトを提げて運動場裏を馳驅せんとする者果して幾人かある。これを我が同盟國の婦人に比すれば、實に霄壤の差なり。英國の婦人は遠足もし、山にも登り、獵もし、水も泳ぎ、舟も漕ぎ、テニスもすれば、ホツケーもし、自轉車にものれば、馬にも乘る、又世界を股にかけて旅行もするなり。故に英國の婦人は甚だ强健にして、身體にかけては如何なる場合にも引けは取らぬなり。丈夫なる身體は日頃役立つは勿論、非常の場合にも甲斐々々しく立働けるものなり。北淸の事變に、各國公使館員北京に籠城せる際の如き、最も能く立働きて、非常の手柄を顯はしたる婦人は、皆體軀の好りし人なるにても知るべし。事變は病身なりとて容赦なく、起る時には起るものなれば、日頃の身體の鍛へ第一也。奧村刀自の如きも、少時より身體を鍛へ置きたればこそ、六十を越して尙滿洲の野を跋涉するの元氣と體力はあるなれ。此元氣と體力移して以て他の事に用うれば、其事も亦立派に出來るべし。前述の如く孰れの方面より考ふるも婦人の身體を發達せしめ、强壯ならしむるの必要に歸着せざるはなし。これ固より當然のことにして、別に不思議にもあらず。たゞ不思議なるは知て之を行はざることなり。我等はこの事に於ても我が會員が率先躬行して、全國婦人の模範とならんことを切に望むものなり。

◎戰後女子の心得

評議員　棚橋絢子

昔唐の大宗が房元齡魏徵といふ二人の臣下に向つて創業と守成と何れが難きと問はれしに、房元齡は創業が難しと答ふ、太宗がいはるゝに、元齡は朕と共に雨に沐し風に櫛り、百戰の苦をなめ漸くに定めた天下故創業が難きといひ、魏徵は天下已に定つて後朕が日旰て食ひ、宵になる迄衣を更へず治をなすに汲々たる萬機の勢を共にして居る故守成が難しといふ、何れも尤の申分なれど、創業の困難は最早過去に屬したれば、朕は諸臣と共に更に守成の困難に從事せんと判決を下されたが、此度日露戰爭も、軍人諸君の雨に沐し風に櫛り、困難に困難を重ね、漸にして古今未曾有の大勝利を得、殆んど其局を告んとする勢となれり、然らば彼大宗のいはれし創業ともいひつべき大困難は、已に過去に屬せりと思ふも可ならんか、しかし、自今以後は一層の勉勵を加へ、負傷者の療養、戰死者遺族の救護より、廢兵孤兒等の將來を保護し、殊に經濟上に多大の影響を及ぼせし事に付ては、非常の注意を加へざるを得ざる次第なり、諺に勝て兜の緒をしめよと、今後我等女子の精神いかんによつて、國家富强の基も立ぬべく、第二の立派なる國民も養成せらるべく、女子の本分も盡されつべきをいふなり、あはれ同胞諸姉よ、各々其本分の家庭の締りに注意し、奢侈をつゝしみ節儉を旨とし、守成の困難に堪へ忍び、實踐躬行を以て孜々として共にともに進んでやまざるの覺悟あらむことをと、思ふまゝを、一言述ることしかり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎本領以外の事業

本會顧問農商務大臣男爵　清浦奎吾

◉機會の捕拿　私は昨年の一月新年宴會の席に於て警告したそれは機會は額に毛ありてその後面は禿て居る人若し其の前頭の髮を捕拿すれば彼を抱住する事が出來るが一たび彼を逃走せしめたらば何人も彼を擒獲する事は出來ない之を以て日露戰爭の間に本會の發展を計らねばならぬと申したが果して本會は此機會を前髮の方からして捕へられた結果卅六年の末には二萬二千の會員が今日では三十八萬になつたのは喜ぶ可き次第であるが尚進んで五十萬百萬とせねばならぬ。

◉本領以外　軍人の遺族及廢兵を救護するは本會の本領であるが本領以外に於てまた本會の隆盛を希望する何となれば本會は清潔なる交際の機關であつて社會の風敎上に影響を及す事少なからず此事は獨り婦人社會のみならず子弟の敎育上にも其功果尠なからずと信ずる。

◉風敎の維持　本會が婦人社會に於ける唯一の交際機關たるに付て最も注意すべき點は總て飾らぬと云ふ事である今日戰爭中は一般に質素と云ふ風潮になつて居るが平和になつた曉には其反動て奢侈に流れはせぬかと思ふ殊に世の風俗は上流社會よりして起るものであるから此點に氣を付け其本領の外に社會の風敎を維持する事を勉めねばならぬ。

◎獨逸の一家計

統計局審査官　呉文聰

此表は前號に御話した獨乙の高等官ドクトルエミングハウス氏が四十年間經驗した結果を發表したものである。

此計算は麵麭肉類衣服光熱其他重要なる科目を區別せざるが故に稍々不滿足の點があるが是を三期に別つと左の如くなる

第一期　子供等が全く隷屬者たりし時代

第二期　男の子は獨立し女の子は結婚しの爲め莫大の費用を要せし時代

第三期　子供等の悉く獨立し終り

最終期

	平均收入	平均支出	家計費	子女保育	邸宅庭園	租稅	保險	衣服	旅行及休養費	音物	光熱	婢僕	家具	會費及慈惠費	慰藉	書籍	醫藥
第一期 順位			1	15	2	14	5	4	3	9	7	8	6	13	10	12	11
第一期（馬）	六〇八一	四九三三	二八、三一	〇、九九	一二、三〇	一、三四	五、八六	七、六〇	一一、五一	三、〇〇	四、八〇	四、四〇	五、一五	二、七六	二、九六	二、九八	二、三九
第二期 順位			1	10	2	15	4	5	3	11	9	6	7	14	12	8	13
第二期（馬）	六三七九	六三六三	三四、〇六	二、七五	一三、七〇	一、三九	六、八〇	五、七〇	九、四九	四、八六	三、五九	三、七六	三、五二	一、四一	一、八四	一、四一	一、七三
第三期 順位			1	3	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第三期（馬）	一、八一三四	一、六二〇三	二五、九〇	一七、二三	〇、五九	七、九二	六、七四	四、八〇	四、四九	三、八六	三、五九	二、九四	二、七五	二、五一	一、六五	一、五四	一、〇五

右の表中子女保育の費用は初めは僅に些細の高なるに三期に至つては豫算中第二位を占むに至つた。

最も重要なるは家計費である（此科目中に包含せらるゝは飲食費の外拭き掃除費洗濯料其他もの這入つて居る）これは一期よりも二期が高まつて居るが第三期には此費用を減じたこれは收入の增加に從ひ食料等に費す所の金額が比較上減少した形となるとを明示したものである衣服費は第二期て減じて居る是れは此期間に於て一般に生活費の高まりしことゝ子女の爲に必要費が加はつた爲め衣服の費用を節約するとゝなつたからである旅費及休養費も比例に倣つて次第に減して居る要するに六千馬克乃至六千四百馬克（一馬克は日本の四十七錢八厘）の收入を有する者の一家計には第一家計費は全經費の百分の二八乃至三四第二住家は百分の一二乃至一四衣服費百分の五乃至八光熱は百分の三乃至五たるを常例とす而して第三期に見る所はやゝこれに似て居る。

◎京城土産

本會顧問陸軍步兵中佐　堀内文治郎

◉人種の博覽會　有名なる京釜鐵道開通式は恰も人種の博覽會の觀を呈した日本は勿論歐米各國淸韓の人々が集うて婦人連も多かつたが唯殘念に思ふたのは此新殖民地に本會の評議員は岡部子爵夫人の外見受けなかつた事である

◉岡部子爵夫人　は余の突然の出現に一驚を喫せられたと同時に婦人會の事に付ては熱心に余に語られて居た夫人は內地を遊說して多數の會員を得て渡韓されたが當時式場に於ける多くの婦人中より此御婦人を見出した時は式場に於ける大なる慰藉であつた同時に各評議員も順番て遊說に出かけられん事を希望する京城には濱尾評議員の令孃（萩原書記官夫人）が居られるから京城に於ける本會員の募集の如きは同令孃が引受けらるゝに於て最も適當なる地位と考へる

◉朝鮮の婦人　婦人は室外に出ぬ習慣であつたが文明に感化されて段々に出るやうになつた其性質は鋭敏で溫順で立派な處がある自分の友人で當時此國の士官學校長をして居る李乘武大佐は余が日本に於て最も親しく敎育した人であるが此家に招かれ妻君及家族と食卓を共にして談笑した如斯事は彼の地では稀な事であるが段々に斯う進步して來る傾向がある

◉活きた小說　右の大佐と妻君とに就いて小說にでもありさうな事實談があるイヤ是れは實際活きた小說として後に傳へたいやうな物語である夫れは大佐が去る二十九年日本の留學を了へて歸つた當時露黨の爲めに讒言せられて二年間牢屋に呻吟する身となつた其間彼の妻君は何うかして夫を助け出したいと云ふので頗る苦心をしたが終に其甲斐なくして大佐は再び無人島に送られたこゝに於て妻君は有らゆる危險を冒して無人島に渡り罪なくして孤島に憂悶する夫を慰め沖の鷗を友として渚に寄する雄浪雌波に思ひを遣り胡砂吹く風苦屋漏る月に味氣なき世の幸薄きを喞ちつゝこゝに幾年月を送つたと云ふのである斯くて昨年の二月日露の開戰となつて後の大佐は現職に復したのであるが自分はこの話を聞いた時云ひ知らぬ感に打たれたのである

◉亡國の兆は早婚にあり　中等以上の男子は十四歲になれば結婚する其妻君は二十歲位たから夫が二十歲位になれば第一の妻は容色衰へて第二の新妻の爲に排斥に遇ふ其他第三第四と多くの婦人を持つを名譽として居るこれ男子をして無氣力ならしめ惡弊百出し遂に亡國の有樣になつたのである

◉東洋婦人の勢力　支那に於ては西大后が政治上の權力を持ち朝鮮にては皇妃閔妃も中々やり人である政海の混亂の原因も嚴妃冊立の節に起因したのであるを見ても其勢力が察せられる婦人の才が一體に怜悧であつて社會的の働きも進步して居る餘り貴族的に生活すると下情にうとくなる日本の貴族も大に注意を要する

◎十分談片

◉奥村五百子氏　私は今度で三度び戰場に臨むのでありますが婦人の身で一代に斯く多く戰場に臨むの機會を得たのは私の最も光榮とする所であります今度も彈丸雨飛の中は素よりの事行ける所まで進んで往き實戰の狀況を視察し出征軍人に對し婦人會が如何に感謝して居るかを目のあたり傳へ一は出征兵士に一層の勇氣を鼓舞する事をつとめ且つは內地に在る我が四十萬の會員が如何に活動して兵士の爲に後援をなして居るかと云ふ事を傳へて來る積りであります又戰死者に對しては日本國の母なり妻なりを代表して其墓に詣で其靈を慰めたさが腹一杯でありますそれて此老骨を滿洲の野に拋つまでも蹶起して出發する次第でありますから全國四十萬の會員も今一層奮勵して本會の爲に盡されん事を祈つて居ります

◉評議員近藤從子氏　私の一家族中で作りました品物を萬國博覽會に出しましたが其品物は多く押繪を基として作つたので京人形へ日本古代の服裝を仕立て着せました假令ば日本武士には社杯を着せて大小の脇差をさし又女の風俗も元祿其他近代までの變遷の知れるやうに下から一枚つゝ重ねて作り之に着せる布も日本の特產なる種々の切れを寄せ集めて作りました其他香箱の如きもの等取交ぜて三百個を出品し且之れが賣上げ金は日本の恤兵費に獻ずる事の條件の下に賣出しました處が彼の地て非常の好評を博し實價以上の價格に殘らず買はれまして三千五百圓程の賣上げ金を得貴會にも其幾分を贈る事を得ましたのは私の最も仕合とする處であります

◉評議員鄭淡子氏　私は主人が營口に居りますから何れ彼の地に渡り滿洲方面に永住する考へであります戰爭が平和になり彼の土地が日本の權力內になつた以上はあちらを開發する積りで御婦人方も多數に出かけらるゝの覺悟が今より肝要であると思ひます

◉第一生命相互保險會社　矢野恒太氏　人間には目前の事よりも將來の事に考へを及ぼす者が多くありましてこれを智者と申しますが只茲に一つ不思議なるは其計畫の內自分が若しも死んだらばどうするかと云ふの一事だけが何時も其計畫中に加はつて居らぬ事であります夫れが爲に昨日までは家門繁榮して紳士として世に時めく人でも一夜の嵐に吹き散りし後は翌日より債鬼は門に責め寄せ忽ち路傍に迷ふの不幸を見る事が往々あります如斯人を世の人は清貧洗ふが如しとか云ふて其平生潔白なりし事を賞しますが其實は無責任極る仕方で紳士たる職分なり體面なりを全うしたるものと云ふ事は出來ませぬ殊に家族制度の日本に於ては夫れが爲めに大切なる父母にも供養を缺き妻子は離散するが如き慘狀を呈するに至つては不道德極まる行爲と申さねばなりません故に私共は家庭を形ち作る最初に於て又は事業を始むる最初に於て死後は如何と云ふ事を計算に入れて置く事が必要と思ひます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小說

繃帶紗紙

巖谷小波

「御婦人方の前などでは、あまり御目に掛けられんものでありますが、折角でありますから、御免蒙つて御覽に入れませう。」と、小膝ににじり寄つて、徐かに上着を脱ぎ、襟衣をまくり上げ、その右の二の腕にある、二ヶ所の彈痕を示めした。その人は島田仙二郎と云つて、豫備の一等卒で一時歸休して居る所を、去年の二月から召集されて、直ぐに第一軍の某隊に付き、鴨綠江の初陣から、沙河堡の會戰に至るまで、前後十七八回の戰場に働き、只一つの命を以て、幾度か九死の淵に臨んだが、遂に最後の激戰に、この重傷を受け、一時は危篤とまで報ぜられたのを、野戰病院の療養に、辛くも鬼籍に入る事とは免れたれ、爾來步行の便を失つた爲めに、やがて軍籍を除かれる事に成り、兼ての戰功に依て、今度上等兵に進められた、名譽の勇士その人である。

島田上等兵は、この重傷の療養の爲めに、去年の暮内地へ後送されてからは、澁谷に湯が原に、また廣尾に、約半歳餘の間は、例の白衣の人と成つて居たが、今度いよ〳〵除隊と成つて、郷里に歸臥する事に成つたので、昨日病院を出るや否、兼て入院中見舞を受け、また出征の間にも、始終慰問を受けて居た、同郷の先輩館野氏の許へ、禮やら告別やらに來たのであつた。

所が、館野では、主人は折あしく公用で出張、今日は夫人の貞子と云ふが、娘の二人を相手に留守として居る折から、知合の岡屋の夫人が、丁度來合はせて居たので、島田はそのまゝ座敷へ通され、岡屋夫人にも紹介されたが、話は忽ち負傷當時の事に及んで、果はその名譽の名殘の、彈痕を示す事とは成つたのである。

「まア……よくこれで……腕を切らずにお助かりでしたねエ。」と、好奇に覗き込んで居た岡屋夫人は、眉を顰めながら坐に着くと、館野夫人も同じく太息吐きながら「ほんとにねエ……これぢやアまるで利かない筈ですねエ。」と云ふ。

島田上等兵は、その左手に輕く傷の上を撫でながら「ハイ……撃たれたのは此所でありますが、筋をやられたと見えまして、手首まで動かん樣に成つてあります。」と云ふ「それぢやア物を食べる時などは？」

「隨分困つたでありますが、此頃は左で大分慣れまして」「此間の葉書なんぞも、やつぱり左で書いたのですか。」「さうであります。」「まア……それぢや餘程上手に成つたのねエ。」と、愛嬌にやゝ笑顔を洩らした。

此所へ丁度來合はせたのは、館野の長女の壽子であつたが、今學校から歸つた所で、袴の儘此座敷に出、岡屋夫人に挨拶を濟ますと、直ぐに島田の側へ來て、「アラ、島田さん！　よくも無事で？」と云へば、島田は周章てゝ隅の方へ寄つて、脱ぎ棄てた上着を急いで着やうとすると、壽子はそれを遮つて「まアお待ちなさい。一寸私にも見せて下さいな？」「でも……こんな風俗で失敬であります。」「失敬な事はありません。私見たいんだから見せて下さいな！」「さうでありますか……では……」と、島田はまた襟衣をまくつて、例の二の腕の彈痕を見せた。

すると壽子は、好きな浴衣地を見立てる時よりも、更に熱心に進みよつて、その軟い指頭の、傷部に觸れるまで近く見入つたが、その眉の顰ひよりは、まづその眼を涼しく輝かせながら「島田さん！　もうちつとも痛かア無いの？」「はア、何でもありません。」「では一寸貸して下さいな。」「こんな腕……何うなさるんです？」「私あの……稽古して見たいの？」と、云ふ中にもう立ち上つたが、今日學校から持つてかへつた、紫メレンスの風呂敷を解くと、中から一巻の繃帶が出た。

母は見ると笑ひながらも、「何だねエお前、島田さんの手をお草紙にする氣なんだネ。ひどい人だ。」と窘める樣に云へば、「だつて阿母さん……丁度今日習つたんですもの……」と、はや繃帶を手に取つた。

島田上等兵は却つて興に入つて、「成る程、それでは願ひませう。やつて御覽なさい。」「でも……私まだ出來ないのよ。」壽子は甘へる樣に答へて、やがて島田の腕に繃帶を施した。

「何う？　ちつと緩くつて？」「イヤ、これなら大丈夫！　大層御上手ですなア。」と、島田は心から感心して居る。

岡屋夫人はそれと見て、「まア御孃樣！　そんならもう、戰地へ入らつしやれますねエ。」と云ふと、島田上等兵は引取つて、「だが孃さん！　戰地では此所から血が出て居りますよ。」（完）

◎女子の聲

須藤求馬

夫れ昔へより婦に長舌ありといひ、牝鷄の時つくるといひて、兎角女子の言說を賤しまれたり、女子の言も聞くべきものあり、男子の說も聞くべからざるものあり、聞くべく聞くべからざるは言說の性質にこそ、婦女子の言なりとして、一概に斥けて聞かざるは頑冥不靈の徒なり、聞け、こゝに掲ぐる女子の聲を。

◎穴穗部皇女曰、迷ひに深きものは、吉といへば心を心よくし、惡といへば心を心あしくす、よしあしは我にありて人にあらず、人の詞を假り用ふることなし。（聖德太子の母）

◎倫子女王曰、道德仁義は人の食なり、是を得る時は山中海底にも能く身をやしなひ、是を失ふ時は帝都金殿の中にも餓死ぬ。（宗尊親王の女）

◎阿波内侍曰、善人は人の過をつぶさに問はず、人の善を聞ては我善事の如くに思ひよろこび、人の惡事をつたへ聞ては我惡をせし樣に思ひ、我德行のたけたかくなるに、人の短きをたゞさず、その德にしたがひてまじわり賤むことなかれ。（信西の女）

◎堀河曰、人は己を正くして理にうとからぬこそよき、邪なる道には人のよく思ひつくものなり、己正しければ邪には迷ひはべらず、聞て益なからん事は大やうに聞かぬがよきものなり、聞てよきは、琵琶、和琴、琴、春の鶯、秋の鹿の音。（待賢門院の女房）

◎宜秋門院丹後曰、皆人の生れはすなほなるものなれども、もの習ひによりて善人惡人となれり、然らば、父は子に敎へ、子は又善にふれて假にも惡人に交るべからず、さるもの丶歌に。

植て見よ花のそだゝぬ里もなし心からこそ身はいやしけれ。

善人にむつびて惡しき事あらじ麻の中なる蓬みるにも。

◎兵衛佐曰、おごれる人を見て己が戒とし、事に敏し物にうや〳〵しく、人を見て己が師とすれば、身終るまで心よかるべし。（順德院の女房）

◎江侍従曰、己正しければ善惡に居らず、正しからざれば善にうつり惡にうつりやむ事なく、善惡は己に在りて物にあらず。（大江匡衡の女）

◎從信尼曰、己の邪を知る人は、道を知る人のはしなり。（親鸞上人の女）

◎永福門院曰、世に悲しきものあり、道に志ざし深き人の貧しきと、愚者の財寶おほきと、國の司たる人の慈悲なきと、名高き人の世にもれて賤き人と交り居るとなり、是悲しきものゝ至りなり。（藤原基輔の女）

◎准子曰、萬の物皆目利とて其道の達人ありて、例へば傍よりいなやといへど、此人のよしといふ物はあしけれど人是をゆるす、何とて人を目利する人は世になきや、上つ方より下つ方に至るまで、人の目利する人なきゆゑに、一方には善人とほむれども、一方には惡人とそしる、是よき目利のなき故なり。（源守國敏の室）

◎源子曰、世の中になべて嫁を惡む事は我子を思ひ過すにあり、必ず物の過ぎたるは惡しきものなるいはれなり、子の親に不孝なるも、餘りに大恩なるが故に恩を忘るゝなり。（權中納言量光の母）

◎維子曰、夫女は容貌のよしあしを取らず、言葉すくなに愛敬あるこそ第一の女なれ、男は内に文字ありて人の噂の善惡いはて、妄りに怒りのなきを第一の男といふなり。（後法性寺關白の室）

◎長君曰、愚なる哉人の心、同じ黄金にて佛と鬼をつくらんに、佛は尊く思ひ鬼をおそろしく思ふ、よろづ是にて思ひ知るべし。（關白太政大臣晴良の北の方）

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

衛生

◎夏時の衛生

ドクトル 川瀬元九郎

▲避暑する人の心得▼

（一）避暑の爲め海濱や山間の温泉に行く時節となつて來ましたが斯う云ふ所へ行くと空氣が新鮮になると土地が替はるのとで神經が落着く爲め食慾が大層進むものであります

（二）併し食慾にまかせて胃腑を充たす而も自ら手を下すにあらずして他人の勞力に依りて供せらるゝ食物を以て胃が充滿した所で涼しい微風に吹かれたり爽快なる風景を詠めたりして居ると自然に睡氣を催して來るものである其處で宜い心持になつて睡つたりしては夏中斯んな所に居ても眞の避暑と云ふ丈けであつて身體にはさしたる效能がない夫れは秋になつて都會に歸つて見た所で分かる

（三）食物は無暗に西洋の眞似さへすれば宜いと思つて脂濃きものを食べるものが多いやうであるが是れは宜しくない脂濃いものよりは野菜や果物を主なる御馳走として何んでも淡泊なるものを控へ目に食べて朝から晩まで山間の跋渉やら水泳やらで運動を怠らぬやうせねばならぬ夫れのみならず砂上や雜草の上に横つて日光に浴したり新鮮の空氣を呼吸したりすることをも忘れてはならぬ否な是れを避暑中第一の本職となさねばならぬ

（四）消化の悪い食物を澤山食べて團茶や將碁や加留多などに耽けるのは宜しくないこの種の少しも運動にならぬ遊び事は嚴禁しなければならぬ聊かなことではあるけれども是れ丈けを守るならば冬中どんな劇しい事業に從事して身體や精神を使ふても決して病氣になつたり根氣敗けをしたりすることはない

（五）冬になつて寒冒に罹つたり熱病を患つたりするのは全く暑中の養生が悪いからである亦た暑中に脚氣や膓加答兒などに罹るのは是れは冬中に不攝生をした結果である夫れ故海濱や山間へ行く人は必ず是れを守らねばならぬ

▲避暑せぬ人の心得▼

（一）暑中と雖も業務の都合等で避暑に行くことの出來ない人がある是等の人々は避暑に行く人と同じく成べく淡泊とした食物を食べなければならぬさうしないと暑さの爲めに空氣が稀薄になつて居り且つ温體の發散が迅速でない爲めに息苦しいものである

（二）午睡を避けて暑さを凌ぐ法として一番簡便で時間のかゝらぬ法がある夫れは深呼吸をすることである朝起きて直ぐに五分乃至十分間また就床前に十分間位是れを行ひまた徒歩の時車上の時に深呼吸をするのが何より宜しいのである

（三）寒氣中の酸素を成べく多く吸い込んで置く時は夫れ丈け全身の機關の働きが盛んになる許りか且つ不潔物が速かに排泄されて其の人は強壯で精神的身體的活動に堪へられるのである

（四）何にかなしに思ひ附いた度毎に深く呼吸することに心懸けて居れば一日に二三度しかしなかつたのが一時間に一度位するやうになる夫れが終には習慣となり平素呼吸が深く強くなつて仕舞ふ

（五）汽罐車が小さくては到底重い貨車を澤山曳く譯に行かぬ無理をすれば汽罐車に損傷が出來ると同じく呼吸力の弱きものは到底大事業をなし永く是れに從事することは出來ない依つて呼吸に注意すれば永久の結果として重要なる果實を結ぶのみならず差當り暑さを樂みに過すことが出來るのである

◎子供と新粉細工

久津見蕨村

●子供衆を持つておいでになる方が、直ぐにお考へになる事は、第一に此子を如何いふ人物に育てやうかと謂ふ問題であらうと想ひます

●夫れで色々御心配があつて、軍人にしやう、學者にしやう、實業家にしやう、政治家などは旨く行けば宜いが、遣り損ずると身代を棒に振るやうな事にも立ち至るから考へものだなど、御夫婦御相談がありませう

●勿論子供衆を持つた親御の義務としては、斯く深く此問題をお考へになるは當然の事であります。けれども子供の教育は決して新粉細工のやうなものではありません

●生れた時は白糸の何色にも染らぬもののやうでありますが、併し夫は必ずしも如何にでも揑らるゝ新粉團子ではありません。木や草の二葉の萌芽のやうなものであります

●地から一寸ばかり出たのみでは、何か少しも分りません。唯二葉の萌芽と謂ふ丈です。けれども草の萌芽、木の萌芽、灌木の萌芽もあれば、喬木の萌芽もあります、勿論培養の仕方一つで大木にも大人物にもすることが出來ます。併し松の木の萌芽を培養して、樫の大木を造ることは六づかしい

●之れと同じ理屈で、子供には子供の先天の性質がありますから、一概に親御の御意見一つで、太郎は軍人、次郎は學者、嬢は實業家の家内、三郎は商人にしやうとお定めになることは、少々御無理なのです

●先天で耳の工夫が悪くて、爲めに充分に音樂を感ずることの出來ない人もあります。俗に調子はづれと申すは、其一つです。之は教育で幾分かは直すことが出來ますけれども、到底音樂師には成れません。此外の事でも之れと同じです

●ですから親御の御一存で、子供衆が生れるが早いか、此子は何んにする。大分工業が盛んだから工學士が宜い。イヤ商人に限る。是非商人にするなど、お極になつて、新粉細工をなさるやうな思召をなさるは宜しくありませんと想ひます

●唯もう高等小學から中學の初頃までは、子供衆の身體を丈夫にする。精神を慥かにする。寒暑にも厭ず、困難にも敗けず、何事でも遣り通し、何物にも動じないと謂ふ強い身體と慥な心とを持つ少年青年を造るとばかりを力めて、自然の發達を助けて行くのが當然であります

●さうすると其内に自然に其子供衆の性質が現はれて、何んに向くか如何いふ人物になるかゞ分つて來ます。そこで方向をお定めになるが宜い。之が父母たるものゝ眞の義務であります

◎司法大臣官舎の臺所

（家屋を建築する人の爲に）

●米國では白屋　即ち大統領の官舎に入ることを以て婦人の尤も光榮なることとして居る夫れは單に家屋の構造や室内の裝飾が立派であるからと云ふ許りてはない其の臺所が如何にも完全して居るからである婦人と臺所是れは先天的離るべからざる深き關係を有して居るものであるから婦人の身としてさう思ふのは無理のないことである

●大統領の官舎とは到底較べものにはなるまいが日本に於ける官吏中の上位にある大臣の官舎は定めて立派であらう其の臺所の如きも隨分完全したものであらうとは誰も豫想して疑はぬ所である其處で記者は例に依つて大臣官舎の臺所拜見に出掛けることにした

●大臣の官舎は澤山あるが其の内でも日比谷の頭巍然として天を衝く大建築の司法省其の北隣りにある司法大臣の官舎などは最も新らしい建築であるから臺所も他の大臣官舎よりも完全した新式のものであらうと思つて行つて見ると案に相違、實に平凡を通り越して普通の臺所よりも不完全なものであつた

●尤も普通の家にある普通の臺所よりは廣くもあり天井も高い併し臺所は三層樓の最下層の陰氣な風通しの悪るさうな所に設けられて天井の高いのは宜いが夫れが板の天井では無くて壁になつて居て廣い許り物置く場所さへ安排よく配置されて居らぬ料理人の居る所はと云ふと其の隅の方にチヨイとした疊の敷かれた所がある許りで宛然たる小使部屋、何うしても是れが臺所とは思はれぬ程である

●其處で現任の大臣波多野氏は其處に住はれて居らぬ何うして歴々の方が斯んな不完全な臺所の附いた所に住んで居られる筈がない要するに司法大臣の官舎とは名ばかりで其實は無いのである最も新らしい建築の此官舎でさへ是であるから他の官舎の臺所は推して知るべしてある見なくとも大概想像する事が出來る

●臺所の如きは其の分に應じて大きいのもあらう小さいのもあらう併し其の大小に拘らず便利と衛生上完全のものにしたい何程大きいと廣いとて使ふに不便な臺所では何んの益をもなさぬ夫れから見ると小さくても使ふに便利な益に立つもの、方がズツと優つて居る是等は將來家屋を建築する人の充分心得て置かねばならぬことてある

●人は臺所と一口に云つて仕舞ふが臺所は一家の内でも最も大切な場所である玄關や客室許りを立派にして臺所の方を打捨らかして置くのは詰り頭足を顛倒した仕方である斯んな家には得て病人の絶へぬものである偶ま大臣官舎の臺所を見て感じたとがあるので敢て一言しました。

◎泰西婦女訓

●妻は家庭を愉快ならしむ可く勉めよ然らずんば結婚は無意味の者となり了せむ

●子孫の爲めに天が婦人に與へたる至高至美の性質は其の燃ゆるが如き愛に在り

●愛は善の普遍的原則にして最も清く美しき者也人類の悲哀に對する唯一の靈藥

●同情は家庭の愛情と和合との唯一の連鎖なり此同情なき家庭は幸福なる能はず

●婢僕に過失ありし時は汝が如何に彼等を愛憐するかを想起し寛宏の處置を執れ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

去月廿八日評議員會ニ於テ七八兩月間評議員會例會ハ時局ノ折柄ニ付休會セザルコトニ決議セリ但シ兩月間ハ午前開會之事
右及御通知候也
七月　愛國婦人會
開會日
七月廿六日（第四水曜日）
八月廿三日（第四水曜日）

◉評議員會例會　本部に於ける同會は去月廿八日開會し左の議案を議決したり

第一號議案
愛國婦人會資産管理及處分規則
第一條　本會ノ資産中基本金（支部基本金モ含ム）ニ組入レタルモノハ定款第十條ノ職員及各支部長本部顧問並ニ會計監督ノ同意ヲ得ルニ非サレハ支出スル事ヲ得ス
第二條　本會ノ基本金ハ帝室ノ恩賜金篤志者ノ寄付金並ニ賛助員ノ出金及會員醵金ノ一部ヨリ成ル但特ニ用途ヲ指定シタル寄付金ハ此限リニ非ズ
第三條　本部基本金ハ評議員會ノ承認ヲ經テ確實ナル銀行ニ預入レ若クハ國債證券郵便貯金トナシ保管スルモノトス
會費及其他雜入金等亦前項銀行ニ預ケ入ルモノトス
第四條　各支部基本金ハ本部ノ承認ヲ得タル銀行ニ預入レ若クハ國債證券郵便貯金トナスモノトス
第五條　本會會員醵出ノ會費並ニ預金及國債利子其他ノ雜收入ヲ以テ救護費ニ充テ且本會ノ經費ヲ支辨シ殘其一部ヲ毎年基本金ニ組入ルヽコトヲ得
第六條　前條ノ收入豫算ハ毎年十二月評議員會ニ提出シ議決ヲ求ムルモノトス
第七條　毎年度ノ決算ハ評議員會ノ承認ヲ得テ翌年三月通常總會ニ於テ會員ニ報告スルモノトス
第八條　本會ニ於テ動産不動産ヲ購入シ又ハ賣却ヲ爲ストキハ評議員會ノ議決ヲ經ルモノトス
第九條　動産不動産ノ目錄ヲ備ヘ置キ其增減ハ常ニ加除整理シ毎年一月ノ評議員會ニ報告スルモノトス

第六號議案
一男子ニシテ七圓以上ノ寄付者若クハ有功章者ハ賛助員トシ賛助員章ヲ贈與スルコトヲ得
但外國人ハ男女ヲ問ハズ本文ノ例ニ依ル
（理由）時局以來再三各支部ヘ賛助員募集勸誘ヲナシ來リタル所今後特ニ賛助員大募集ヲ奬勵シ其出金ヲ擧ゲテ本支部基金ヲ增加セントスル際ニ付此ノ特別ノ取扱ヲナサントスル所以ナリ

◉各支部職員新任　其後の新任者左の如し

▲支部副長
兵庫支部　永井鉄子　奈良支部　濱田鶴子

▲支部評議員
北海道支部　山口光子　神奈川支部　多田ツヤ子
奈良支部　稲石梅子　奈良支部　龜井貞子
青森支部　山本道子　愛媛支部　峰ヨネ子
愛媛支部　松田外世喜　沖繩支部　池畑スエ子
沖繩支部　伊藤てい子　仝　中島とよ子
仝　沖濟子　仝　大嶺あき子
仝　小野奉子　仝　瀨數マウシ子
仝　川村松子　仝　田中泰子
仝　武石幸子　仝　奈良原増子
仝　山中老鶴子　仝　前島ふぢ子
仝　普久里そと子　仝　相良とこ子
仝　三井讓子　仝　澤はつ子
仝　新垣こせい子　仝　瀧谷佐乃子

◉有功章贈與　去月中左の人々は功績並に金品寄贈に依りて有功章を贈與せらる

▲一等有功章贈與者
金四百七拾九圓五拾九錢　英國　シャールス、マーテイン

▲二等有功章贈與者
功績　本部評議員　佐藤翠子
仝　男爵夫人　尾崎八重子
仝　東京支部幹事　木村せん子
仝　愛媛支部仝　石橋カツノ子
仝　仝　吉田初新子
金百五拾圓（内金五拾圓已納）　本部評議員　岡田鮭子

▲三等有功章贈與者
功績　山梨支部幹事　市川峰子
仝　愛知支部　安藤隆雄
仝　仝　山田初司
仝　千葉支部幹事　介川かれ子
仝　仝　中山粂子
仝　仝　中村粂子
仝　仝　遠藤ます子
仝　仝　酒井忍孝
仝　香川支部　新山マサ子
仝　山形支部主事　木村忠恕
仝　福島支部幹事部長　富田だい子
仝　仝　鈴木とく子
仝　仝　加藤とく子
仝　仝　熊川もと子
仝　事務員　大村武雄
仝　千葉支部主事　脇本米司
仝　仝　遠藤ます子
仝　岡山支部幹事　秋月豐子
仝　兵庫支部事務員　杉山義治
仝　山形支部幹事　川崎チヤウ子
仝　仝　近岡トヤ子
仝　東京支部幹事　黒田琴子
仝　仝　付田歌子
仝　仝　育木愛子
仝　仝　松浦島子
仝　仝　岩佐千賀子
仝　山形支部　荻野良子
仝　愛媛支部　大塚政敬
金五拾圓　東京支部　高津しん子
金五拾圓　京都支部　ミツス、エス、パクレーン
金百三拾圓四拾三錢　仝　金剛直吉
金百圓　神奈川支部　平沼專藏
金五拾圓　東京支部　關鶴子
金五拾圓　京都支部　西川新十郎
金九拾五圓四拾錢　仝　渡邊隆助
金五拾圓　東京支部伊豆神津島惣代　孫田靖雄
金五拾七圓五拾錢　清國牛莊　陳承第
金五拾七圓五拾錢　陳承第夫人　誠喜子

◉寄附金披露　其後拾圓以上の寄附金者左の如し

一金四千四百六拾七圓餘　米國　マリヤン、ウオルシ孃
一百拾五圓　清國　陳承第　同人妻
一金四百七拾九圓餘　英國　チャールス、マーテイン
一金五拾圓　福島　大峯よし子

◉救護の近況　軍人の遺族及廢兵にして生活上困究者と見認め救護を實行せしは本年三月以來六月迄に數回なりしが其人員は總計五千二百四十七人にして救護金額は一万八千六百四十六圓なり尚此外に時局に關し戰死せし軍人の遺族に對し臨時救護として昨三十七年十二月迄に贈與せし人員は二千七百十四人其金額八千二百二十三圓五十錢あり之を合計すれば其人員に於て七千九百六十一人金額二万六千八百六十九圓なり

◉救護金の配布　卅七年度の救護金は各支部に分配せるが今東京支部の配布高を見るに本部よりの配布高は四百五圓にして支部規準以上の積立金より更に四百六拾四圓を加へ合計八百六十九圓を救護することとなし合計百二名に對し救助を爲し丙種に該當する六十九人に六圓つゝ丁種の內二十五圓一人二十圓二人拾八圓三人拾五圓四人拾二圓二十三人に對して夫れ〴〵分配を終へたり尚各支部は本部の配布により目下手續中なり

◉奥村評議員一行の出發　本會評議員奥村五百子氏は事務員野中彌知子同富樫眞子、仝手嶋益雄の三氏と共に去月二十九日午后零時三十分新橋發にて會務視察の爲め大連を經て遼東地方へ出發せられたり尚ほ會計監督佐藤正氏も一行と同乘郷里廣嶋に歸省されたるが當日停車場まで一行を見送られたる人々は左の如し

▲會長　岩倉久子　谷玖滿子　月田時子　清浦錬子　柳谷千代子　▲監事　阿部鶴子　堤常子　▲理事　九條惠子　近衞貞子　▲評議員　[illegible]

其他顧問一條公爵、谷干城子爵、小笠原子爵、千家男爵、松井閑院宮家令、堀內陸軍中佐并に近衞公爵、保利赤十字社澁谷分院長、原胤昭、鄭永昌、重見兵庫主事、河內山熊本主事其他數十名大久保庶務課長は神奈川驛迄見送られたり

◉視察員一行の乘船　奥村刀自の一行は去る二日午後四時河內丸に乘船し翌三日朝兵庫港を解纜したるが乘船に際し岩倉會長其他數氏の祝電を接手し一同欣然として發航したり

◉何等の壯觀　奥村刀自の一行は別項の如く去月二十九日を以て新橋驛を發したるが列車の品川驛に着するや毛利理事是れより先きこゝに一行を待受けられて停車中いろ〳〵の對話交換せられたり此時前面の山上に數十名の少年あり各々手に國旗を振り翳して一行を送り汽車の進行を始むるや山上是れを追ふて絕所に至たる車中の奥村刀自亦た窓を排して半身を現はし小き日章旗を打振りて是れに應ず實に一行が鹿嶋立ちの勇ましくも出發第一驛に於てこの壯觀に接す前途の祝福思ひ見るべきなり

◉視察員一行の小照　別項所載の會務視察員奥村刀自一行の小照は本號の附錄として添附しあり就いて見られよ尚四氏の服裝は總てカーキ色にして神戸港より同行する熊本支部幹事田代治子氏もこゝに其の小照を揭げざれども同樣なり

◉山口支部　傷病兵士慰問　山口支部にては客月廿七日支部長渡邊い子氏並に林副支部長大久保幹事部長植木、宮崎、八木、三幹事諸氏は山口支部を代表して廣島豫備病院山口分院の患者を慰問として出張し卷烟草及びハンカチーフを寄贈せり

◉裁縫部の近情　東京支部裁縫部は日を追ふて從事者增加し目下貳拾五名の軍人遺家族あり就いて幹事男爵夫人尾崎八重子氏非常に盡力されつゝあり尚ほ幹事丹羽花子氏の紹介を以て先頃靈南坂なる森村勇氏の母鹿枝氏は亡夫の七年忌に相當するを以て慈善の爲めとて浴衣地拾三反を裁縫部從事者へ寄贈されたりと奇特のとと云ふべし

◉入會美談　愛知縣碧海郡中郷村大字小望八番戸原田武平の妻たけは今回本會の趣旨を贊して通常會員に加盟したるが夫武平の養母故のせは豫て博愛慈善の志厚かりしにより亡母の意志を追想し孝恩の一端に報ずる爲め不必要なる衣類數點を賣却して金七圓を得是れを本會に寄附し來たれりア、美服を纏ふを以て女子の能事と心得居れるもの多き今の世にたけ女の如きは實に俗流に奔る滔々たる世間の女子に對する好龜鑑と云ふべし

◉本會徽章扇子寄贈者　其後恤兵扇子百本以上の寄贈者左の如し

八百四十本　鹿兒島　頴娃村民一同
五百本　侯爵夫人　細川孝子
四百本　鹿兒島　隈之城村婦人會
三百三十本　同　加世田村愛國婦人會
三百十九本　同　喜入村愛國婦人會員
三百十九本　同　喜入村婦人會員
三百十九本　同　中伊集院村有志者
三百本　千葉　第二回　橫田靜子
二百六十四本　鹿兒島　谷山村愛國婦人會員　谷山村婦人會
二百十六本　鹿兒島　小浦方限
二百二十本　同　加治木婦人會員
二百本　兵庫　佐藤みれ子
二百本　熊本　錦野村愛國婦人會員
百五十本　鹿兒島　國分村婦人會
百五十本　同　名瀬港大熊商船會社員
百二十七本　同　上伊集院村有志者
百二十一本　鹿兒島　片浦方限
百二十本　同　高口村婦人會員
百六本　同　柏原新町[illegible]會
百本宛
東京　井上むつ子
同　寛島幾子
同　鹿島糸子
同　鈴木いれ子
同　牧野つる子
兵庫　大井きく子
山口　植木うた子
千葉　茂木八重子
鹿兒島　財部村婦人會
熊本　江藤ひで子
千葉　茂木花子
宮崎　遠藤ひて子
宮崎　岩男ひさ野子
鹿兒島　頴娃村愛國婦人會員
同　川內中學校職員生徒
同　大浦方限
同　枕崎婦人志會
同　東志布志村婦人會

因に最初より總數拾五萬貳千七百本餘の申込あり之に本會より貳千貳百餘本を加へ總計拾五萬五千本として陸海軍へ寄贈の豫定なり

私共一同滿洲出張の節は皆様方の御見送りを辱う致し難有謹て御禮申上候也
船中にて
奥村五百子
田代治子
野中彌知子
富樫眞喜子
手島益雄

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

活動界

◉皇孫殿下御養育係　迪宮淳宮兩皇孫殿下の御保姆たる至大の光榮を擔へる足立孝子(三十)の人格經歷は旣に本紙に掲げて時潮に漂ふ輕薄の婦女子に此上なき教訓を與へたるが今又兩殿下の御養育係として無上至大の譽ある責任を授けられたる賢婦を傳ふるの機に會せり◉全國幾十萬の賢婦淑女中より特に獨り抽き出されたる此名譽ある婦人は渥美千代子と稱して和歌山市屋形町四丁目の生れにして本年三十五歲故渥美健治の未亡人にして榛雄(五)といへる一子あり明治廿五年四月女子高等師範學校を卒業して和歌山高等女學校の助教諭に任ぜられ同處に斷續すること約そ十年去る卅三年六月京都府立第一高等女學校の教諭に轉ぜる以來同府の教育者間に重きを置かれ生徒の愛慕信賴を一身に擔ひて今日に至れるなるが容姿も學問も人に優る丶のみか貞潔無比の婦人にして良人の歿後實母秀子(六十)妹いはほ(三十)と愛兒との四人家族にて平和の生活を營み來れりと言へば其人格の高く潔きと其才學の深く廣きとは婦人として缺くる處なきは言ふを待たず然れば此大任を被むるに至れるは當然の報酬にして獨り千代子の光榮のみならず今の教育界の名譽と謂ふべきなり

◉清國王族と家庭教師　在清國天津の仙波陸軍少將は此程同國肅親王殿下王女御姉妹の手に成れる毛絲細工花瓶敷一對を目白の日本女子大學に寄附したるが夫に添へたる手束に依れば同國上流婦人社會の狀態を推知するに足るべきものあるを以て其大要を摘記すべし肅親王は清國皇族中の進歩的人物と見らる丶お方なるが夙に家庭教育の緊要なるを感ぜられ三ケ月以前我國より木村某女を招聘し王女姉妹の教育を托されたれば同女史は小學校程度の諸課目に手藝の一科を加へて熱心に授業をなし親王殿下また親しく督勵され給へば成績極めて好く僅々三ケ月間に拙きながらも一通の編物も出來る程に進めるにて件の花瓶敷も課業として編まれたるものなりとぞ又同親王の妹婿にして一昨年中本邦に來遊せられたる喀剌沁王も一昨年冬頃より河原某と云ふ女教師を聘し多數の子女を教育せしめつ丶ありと云ふ、遠くは暹羅國に我國の女教育家ありて同國上流の蒙を啓かんとするあり今また善隣の清國に此悦ぶべき狀態あるを見る我等は本邦教育界の爲に大いに之を祝すると共に俊秀の婦人教育家に向つて此機運を利用すべく力を注がれん事を望んで已まず

◉神田婦人會　東京の十五區に通じて今日まで婦人會のなき區は神田區のみなりしに今回は愈々設立さる丶に決したり發起人は區內有力者の細君五十六名にして來る廿七日午後七時より神田區役所內にて發起人總會を開き幹部の人を選任する由なるが猶此婦人會は各區の夫れと異なり兵事義會及び獎兵義會等に屬するものに非ず從つて會の存立期限及び其事業等は戰時に局限せらる丶ものにあらざるも戰時には戰時相應なる事業をなす筈にて役員は會長一人副會長二人幹事五十人事務幹事七人顧問若干人にして事務幹事と顧問とは男子なる由

◉產婆と看護婦　卅七年末の統計によれば市內に於ける產婆數は有資格者千四百二十二名看護婦の實際數は千六百八十六名なりと云ふ

講習界

◉家政科夏期講習會　神田區錦町三丁目なる東京女子教育會にては本月二十七日より八月十日まで家政科講習會を開く科目は家政、應用化學、洋服裁縫等にて別に國語科の講習もあり講習時間は午前八時より午後五時までなりと尙ほ同會にて來る九月一日より文部省檢定受驗者の爲め第二回裁縫家事講習會を開く由なり

◉女子商業の講習會　神田錦町なる女子商業學校にては實用染織法及び配色法の實驗教授及びミシン使用裁縫及び小見洋服裁方、タイプライター器械使用法並に英文商慣習及び商用文讀、速記術等の夏期講習會を開く筈にて本月二十一日より科目に依りて或は二週間或は三週間の豫定なり

◉婦人農藝會の講習會　牛込區東五軒町なる婦女新聞社の催にか丶る同會にては本月二十四日より三週間の豫定を以て神田區女子商業學校內に於て農藝講習會を開く學科は農業汎論、養蠶、養雞、養蜂、酪農、田舍料理、園藝にして講師は澤村博士外數名各講習料は三科迄一圓三十錢、以上二圓五十錢なり

◉料理法講習會　去月十一日を以て第二十回の卒業生三十五人を出したる成女學校の料理講習會は又た〱十五週間の豫定にて講習を開始したり科目は支那料理西洋料理日本料理等なり

◉女禮式講習會　牛込區白銀町なる高等女子實修學校にては八月一日より中島義七氏を聘して午前中二週間にて女禮式の講習會を開く由

◉實用支那語講習會　同會は嘉悅孝子女史監督の下に創設されたるものにして校主は前直隸省農科大學堂の助教授桶原一郎氏師範は同師範學堂の教習大橋末彥氏淸國人張志喇氏にして科を分ちて入門科、普通科、研究科の三となし入門普通の二科は共に六ケ月の修業にして研究科は隨時無期限なりと尙ほ同會は神田區西小川町二丁目二番地に設置せられたり

教育界

◉女學生の父兄種別　東京府立第二高等女學校に就て訊ぬるに官吏五十二人、軍人二十一人、內勅任十六人、奏任五十七人、判任二十八人、敎員三十九人、公吏八人、醫師七人、會社員二十八人、農四人、工六人、商十二人、無職五十一人にして更らに今學期より首めたる村上專氏の東洋女學校七十一名の生徒に就て調査するに商五、官吏十九、無職二十、農六、會社員四、質商三、敎師二、醫師七、印刷業一、華族一、醬油商一、乾物商一、銀行員一、軍人二、米屋一、工業一、建築師一、薪炭商一、牛乳屋一にして平均の年齡は十四年六ケ月最年長は二十三歲最も少きは十二歲なりと

◉裁縫女學生の學費　女子大學生の每月學費は曩に報道せしが今亦た東京にて比較的多數なる裁縫女學生昨今一ケ月の學費目を得たれば左に掲ぐ七圓寄宿料、二圓月謝、五錢校友會費、一圓三十錢材料、一圓三十錢雜費、三十五錢被服料、合計十二圓　其他雜費の內譯概畧は左の如し

二十四錢切手、十二錢卷紙、封筒、二十錢石鹼洗粉、十六錢はみがき油類、間食代、二十八錢電車代、三十錢交際費

臨時費

◉女敎員の增加　一月七日より六月十七日まで東京市より敎員の免許狀を下附したる者三百六拾七名の內女子百四拾五名あり是れに目下講習中なる敎員傳習所生徒の三百有餘名を加ふれば來年の今頃は是に三倍するの女敎師を出すに至るべし

慈善界

◉軍人家族授產婦人會　千家東京府知事夫人其他貴婦人の發企設立に係る同會(赤坂檜町十番地)にては軍人家族遺族に裁縫洗濯の業を授け其賃錢を以て自活せしむる目的を以て目下就業の家遺族百餘名及び其小兒四十五名を收容しあり賃錢は仕事の巧拙に依り相違あれど一日拾錢以上五六拾錢に及び一日十錢以上の賃錢を得られざる人々には會より拾錢に充つる迄補給をなし且つ每日三度の食事を與へ遠方のものには寄宿をなさしめ小兒ある人の爲めには保姆を置き別室にて保育をなす方法なりと軍人の家族遺族にて入會を望む人は區長又は町村長の軍人家族遺族たる證明書を持參すれば何時にても入會を許さる丶と云ふ

◉佛教婦人救護會の慰問金　開戰以來敵國に幽囚せられし七百名の我が俘虜に金員寄贈の目的を以て創立せし佛教婦人救護會にては去る六月中第一回として金三百圓を贈り去月中第二回として金二百圓を贈りしが猶ほ第三回の寄贈をなさんとて目下會員發企者一同にて奔走中の由

家庭暦

七月中の家庭暦は▲九日　所謂四万六千日▲十二日　草市▲十三日　聖靈迎日▲十四日　年二期の大勘定日△本日より盂蘭盆▲十五日　聖靈送り▲十六日　第三日曜日△年に二度の藪入り▲十七日　滿月▲十八日　增上寺に開山忌あり▲二十日　本日より土用に入る三伏中の初日▲二十一日　本日にて入梅明ける▲二十四日　甲子△二十六日　愛國婦人會▲二十九日　己巳▲三十日　最終の日曜日なり△中伏即ち土用中の丑の日

◎戰地へ送るべき「愛國婦人」に就て

一戰地へ送るべき「愛國婦人」の郵稅は壹錢か貳錢かと大分惑つて居らる丶方があるやうですが戰地へ送るのも內地と同樣壹部金五厘で宜しいのです

一また戰地へ「愛國婦人」を御送附になる方は雜誌代(一部参錢)並に郵稅を前金にて御拂込みあれば當方に於て萬事取計らひ直接御送附致します

一右御申込の節は屆先の宛名を詳しく記して御送りを願います折角お送りになる「愛國婦人」が宛名の不明瞭な爲め遲れて屆いては面白くありません

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎女子の從軍

（采女大海の誠實）

三浦千秋

昔時に於ける女子の從軍は、戰鬪の爲めの從軍ではなくつて（場合に依つては戰鬪にも加はると勿論なれども）皆視養看護の爲めであつた、と云つて、今日のやうに赤十字社があるではなし、博愛主義からして看護婦を志願するのでもない、畢竟女子の從軍と云つても、多くは妻がその夫の視養看護の爲めに從軍するので、彼等が鬼住む夷國、さては虎伏す韓野までも押し渡りて、あらゆる苦勞を甞めるのも、いはゞ「いとしい殿御の爲め」なのである

雄略天皇の御字九年（西曆四六五）に、紀小弓宿禰が新羅征伐に出かける時に、天皇の勅命を以て、吉備上道采女大海といふ婦人を宿禰に賜はり、身に隨へて視養せしめたことがある、これによつて、當時女子從軍のいかなるものなるかゞ能く察せられる、即ち日本書紀にかう書いてある

九年三月、紀小弓宿禰、蘇我韓子宿禰、大伴談連、小鹿火宿禰等に勅して曰く、新羅西土に居りしより、累葉臣と稱し、朝聘違ふこと無く、貢職允に濟れり、朕が天下に王たるに逮んで、身を對馬の外に投じ、跡を匝羅の表に竄し、高麗の貢を防ぎ、百濟の城を呑む、況んや復朝聘既に闕て、貢職修むること莫し、狼子の野心、飽ては飛び飢ては附く、汝四卿を以て拜して大將と爲す、宜しく王師を以て薄め伐つて、天罰を襲み行へ、是に於て紀小弓宿禰、大伴室屋大連をして天皇に憂へ陳べしめて曰く、臣拙弱と雖も、敬んで勅を奉ず、但し今臣が婦命過の際なり、能く臣を視養する者莫し、公冀はくば此事を將て具に天皇に陳べよと、是に於て大伴室屋大連、具に爲めに之れを陳ぶ、天皇聞しめして悲み歎きたまひて、吉備上道の采女大海を以て紀小弓宿禰に賜いて、身に隨へて視養を爲さしむ、遂に推轂以て遣す（原漢文）

采女とは、誰も知つて居る通り、我國の女官の一つであつて、當時諸國の國造（國造とは、後世の大名のやうなもので、國造本紀といふものに擧げてあるのが、すべて百三十餘國ある）より、その子女若くは姉妹の容姿端正なる者を選んで、宮中に召し上げられたものである、されば、この大海といふ采女は、吉備國上道の國造より召し上げられた所の美人であらう、即ち國造本紀には『上道國造、輕島豐明朝御世（應神天皇）元封中彥命兒多佐臣始國造』と擧げてある、右の日本紀の記事を見ると、天眞爛熳、些の虛飾のない當時のありさまが見ゆる、そして君臣の情の濃かなるありさまが顯れてをる

さて大將軍紀小弓は、采女大海を得て、勇んで新羅に入り、しばしば軍功を立てたが、不幸にして中途病に値い、遂に軍中に薨去した、そこで采女は、宿禰の喪に從つて日本に還り來り、葬式のことより家墓のことに至るまで、いろいろと奔走して、萬事甲斐々々しく執り行い、遺憾なくその視養者たるの任務を果した、それらは從軍女子として實に立派なもので、眞に感心すべき婦心といはざるを得ない、即ち國史に

是に於て、采女大海、小弓宿禰の喪に從つて日本に歸り來り、遂に大伴室屋大連に憂へ諮て曰く、妾葬る所を知らず、願くは良地を占しめよ、大連即ち爲めに之れを奏す、天皇大連に勅して曰く、大將紀小弓宿禰、龍驤虎視、旁く八維を眺み、逆節を掩討ちて四海を折衝す、然らば則ち身萬里に勞して命を三韓に墜しぬ、宜しく哀矜を致して視養者を充つべし、又汝大伴卿、紀卿等と同國近隣の人、由來ること尙矣、是に於て大連勅を奉じて、土師連小鳥をして家墓を田身輪ノ邑に作りて葬らしむ、是に由て大海欣悅自ら默すと能はず、韓奴室、兄麿、弟麿、御倉、小倉、針の六口を以て大連に送る、吉備上道蚊島の家人部是なり（原漢文）

と記されてある、これに由つて當時從軍女子の一班を知ることが出來る

◎第七回募集作歌披露

題　螢狩

東京　柴田つね子
草かけにもゆるほたるをとらふ手にすゝしくちりし露もありけり

○　群馬　伏島たき子
めつらしく梅雨はれぬおもふとちいさとさそひて螢かりせん

○　長野　高橋きよ子
をとめ子か螢をあたにたくへつゝかたみに數をきそふころかな

○　石川　太田もと子
をとめこの螢をつゝむうれしさの袖よりあまる影はみえつゝ

○　三重　柄田清子
螢かりいまはとかへる道のへのひかりに又もたちとまりつゝ

○　山梨　小尾玉代子
いねしこのさめてよろこふ顏やみんあまたかりえし螢あたへて

○　石川　新田暉子
稚子の手をたつさへていさけふはほたる狩せん清き川邊に

○　秋田　飛島梅野
ふるさとをへたつる里の河のへにへたてぬ友と螢かりしつ

○　東京　福田倉子
夕風にほたるとふなり草むらにいさやてにせん我たもともて

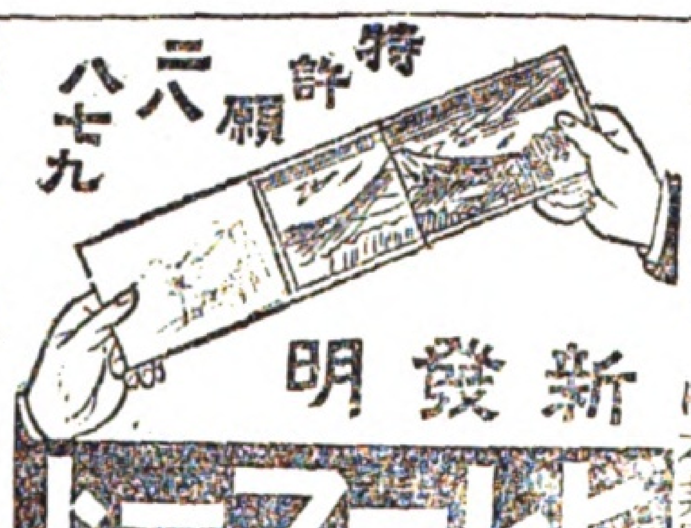
○　大阪　富永才子
露ふかき野への草路わけゆけは玉ちるはかり螢とふなり

○　愛知　山田しづ子
あらき瀬のあなたの岸にむらかりてこゝろやすけに螢とふ見ゆ

正札附　廉價販賣
美術小間物商　三ツ井屋

東京市神田區須田町十番地　電話本局二〇七六番
支店　神田神保町東明館内　新橋ぎわ商品館内

新發明ビレーフート
ビレーフートは交際家の一日も缺くべからざる新封筒なり
ビレーフートは優美高尙精巧秀麗なる繪紙入の新封筒なり
ビレーフートは紀念繪保存として最も適當なる新封筒なり
ビレーフートは外征將士を慰むるに唯一無二の新封筒なり
ビレーフートは各種の繪畵を交換するに至便の新封筒なり
ビレーフートは繪葉書より以上の趣味ある絕好の新封筒なり
ビレーフートは本邦固有の美術思想を發揮せる新封筒なり
精巧優美繪畵挿入



第一號　寫眞版　六枚壹組　定價貳拾錢
第二號　着色寫眞版　六枚壹組　定價拾五錢
第三號　寫眞ドー版　六枚壹組　定價拾錢
第四號　細密日本畵　六枚壹組　定價四拾五錢
第五號　古代近世美人　六枚壹組　定價四拾五錢
第六號　絕景水彩畵　六枚壹組　定價三拾五錢
第七號　明治座川上演劇王冠　六枚壹組　定價拾五錢
第八號　特別製明治座川上演劇王冠　六枚壹組　定價貳拾錢
第九號　觀櫻美人　將士慰問　六枚壹部　實費拾錢
第拾號　藤花美人　六枚壹組　定價拾錢

製造賣捌元　中村封筒部　東京市日本橋區馬喰町壹丁目　電話浪花二一六二番
關西大賣捌店　早崎彌兵衛　大阪市淡路町堺筋角　特電話東一、三九〇番

於聖路易萬國博覽會名譽金牌受領
九谷燒
優雅珍品豐富。高尙御進物用戰捷紀念逸品數種
京橋區東仲通り南鞘町廿九番地
谷口支店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世界のしんぶん

◎魚の聽覺　スペインの博物學者リベラ博士は魚が音聲言語を聞き分くるを得ることを證明せり氏は草叢の下に佇みて鯉に或る定りたる言語を用ひて食事を與ふ時に水面に來る樣敎へたるに此言葉にて呼ぶ時は必ず水面に出て來れども他の言葉にては決して浮び來らずといふ

◎地下の町　オーストリヤ國ガリシヤ洲の一地方に一大鹽坑ありて地下に町あり人口一千ありといふ、町には公會堂敎會あり敎會には肖像等多くあり然るに此家も像も皆潔白の鹽の大塊にて作りたるものなりといふ

◎蜂の巢　世界第一の蜜蜂の巢は米國ケンタッキー洲のものなり、此の巢は大なる洞穴にして重なる巢房の高さ百五十呎、廣さ我四町步餘ありといふ

◎眞珠船　イタリヤ國チュリン市の一寶石商は此程大なる眞珠にて小船を作りたりといふ、船體は只一個の眞珠よりなり形は競爭船にて帆は黃金を打ち伸ばして作り金剛石を鏤めあり、舵手席の燈火は紅寶石にて作り、舵は剛玉石を用ひ、腰掛けには象牙を用ひあり全體の重さ七匁に足らず價は我一萬圓なりとぞ

◎女子聯隊　世界萬國中女子聯隊を備へたるは獨逸皇帝なり、帝一日狩獵に赴きたるにリスニャの娘子八百人程騎馬にて出で來り帝を守護せんと請ふ帝は人員を二百人に限りて許可したるが服裝は瑠璃色に金の緣を取りたるものにて甚だ立派なりといふ

◎婦人の生產力　獨逸國の主府伯林の調査に據ると同府には四十五歲で二十八人の子を產んだ女が一人、四十一歲で二十三人の子を產んだのが一人、四十歲乃至四十三歲で二十一人の子の母たるものが三人て、二百四十人の伯林女は十三人乃至二十人の子持であるとのこと

◎穀類の穗　穀類の穗にある實の列の數は常に偶數にして奇數なる事なしとぞ

寶丹の類似に付　戰地よりの御報知

余は目下出征中也貴下に書を呈するは甫めてなりと雖ども貴店發賣の寶丹は余の愛用して止まざる所なり去年六月征途に付持參せしが已に絕藥せしより海城の酒保商人に寶丹の販賣しゐるを聞き喜んで買求め（十錢包拾個）我守備地に歸り相用ひんとするや器のや丶不器用なるに心付包紙を取調たるに何ぞ計らん貴店の發賣品にあらず其藥品の良否は元より余の如き素人にては不分明なるも粗惡品なるは言を要せず他は御推了に任し候不取敢包紙封入御注意に及候也

三月十一日　出征遼東守備軍　某

右は本舖へ戰地より御報知を辱ふせしものにて小生特に恩客諸君の爲め請ふて之れを江湖に稟告し併せて擬似寶丹の種類を左に列記いたし以て本家寶丹御恩求の際御撿定の便宜たる一助に供せんと爾云

東京市湯島天神町壹丁目八十七番地
寶丹本舖　守田治兵衛出店　柳澤鉚藏謹白
東京市池之端仲町貳拾七號所有地

にせもの

（起死回生）寶丹　日本帝國淡路洲本　守田堂謹製　トアルモノアリ
（起死回生）寶丹　東京池之端七軒町壯壹番地　守田治兵衛　トアルモノアリ
（起死回生）眞寶丹　東京下谷區池之端七軒町三拾一番地　守田治兵衛　トアルモノアリ
（起死回生）正眞寶丹　東京下谷區池之端七軒町三拾貳番地　守田治兵衛　トアルモノアリ
（起死回生）寶丹　東京池之端七軒町卅二番地　守田治兵衛支店　トアルモノアリ
（起死回生）寶丹　東京深川富岡仲町貳拾七番地所在　守田治兵衛　トアルモノアリ
（起死回生）寶丹　大坂府西成郡海老江　守田堂謹製　トアルモノアリ
（起死回生）寶丹　守田堂藥房　此外靜岡ニアリ

以上同姓名以外猶体裁を摸擬したる寶丹數種ありこれ本家寶丹の偉效を竊するものにて眞に本家の名擧と云ふべし留其の類似藥製造者が本家寶丹の体裁のみを摸造する處を察すれば大に濟世の爲め本家寶丹御愛顧の諸君へ御注意を仰く所なり

（ラクダ印）

（麝香石鹼）

ラクダ印麝香石鹼は高貴なる麝香に愛すべきミレスの香料を多量に含むが故に使用せば其香氣身体に充ちよりて手拭タオル、ハンカチーフ及び浴後のゆかたに至る迄うつり香いたし五日間は馥郁として其かほりを失なはざる効力は舶來品にも未だ見ざる一大特點を有す

○定價大形廿錢　小形拾錢　○熱心勉強なる和洋小間物賣藥化粧品店にて必ず販賣せり

近來類似品有「ラクダ印」と井上に御注意

東京本石町三丁目十八番地　芳香藥種問屋　井上太兵衛

流行模樣　京染御半衿　御婦人小間物類　東髮用品

東京日本橋通り三丁目交番角

電話本局二千九百四十七番

登錄商標　薔薇麝香入　水晶おしろい　無毒薄化粧

東京通塩町　大和屋

夏半ゑり　帶揚　新柄格子絞り

別染新柄　浴衣地　小紋島柄格子大中形有松絞り優等品類多

○都華織尾花夏ショール○レースショール

○染摸樣染絞り形帶片側地○裾模樣け出し

顔肌美白　チヱリー　香入小瓶拾貳錢　袋入參錢

高等洗粉　すゞめ形ゑり治形　發賣元

有効受賞まげ入

新橋竹川町十二番地　電話新二〇二七　本店ゑり治

神田表神保町壹番地　電話本局九五二　支店ゑり治

新橋際帝國博品館內階下　ゑり治出張店

從四位淺田宗伯先生直傳　淺田飴

だんせきに　あさだ飴　すきはらにめし

良藥にして口に甘し

定價　金五拾錢　金參拾錢　金貳拾錢　金拾錢

本品全國到る處の藥店に販賣す

本家　東京神田鍛冶町　大阪北久寶寺町　堀內伊太郎

拾壹版　普通看病學　ドクトル佐伯理一郎著（總ふりかな附）　正價金六拾五錢　郵稅金拾錢

補訂　戰時平時救急看護　ドクトル佐伯理一郎譯（插圖百卅七）　正價金參拾五錢　郵稅金貳錢

二版　私宅看病法　下平文柳著（總ふりかな附）　正價金五拾錢　郵稅六錢

拾版　人體解剖生理　●看病法修業用　下平文柳著　正價金五拾五錢　郵稅六錢

發兌元　東京市本鄉區龍岡町三十四　吐鳳堂書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世論一斑

◉媾和の終極觀念　戰爭の終結に對して露國に要求する各人の條件は必ずしも一致して居らぬが要するに永遠の平和は到底成立しないと云ふと一は永遠の平和期し難きに非ず之れを策する今日より善きはない故に相當の條件を得るまでは戰爭を強行するが宜いと云ふのと現歎二つの觀念に過ぎない而して開戰前の硬軟兩論が終に硬論の勝利に歸した如く今日の與論も亦た硬者の言に一致して止むべきは吾人の信じて疑はぬ所である今日の軟論は開戰前の軟論より愚にして有害である（日本）

◉大規模の救助法　戰死者病死者の遺族并に癈兵の救助法は今日の所不完全である故に民間に於ても種々の團體を設けて癈兵遺族を救護するの計畫が續々現はれて居る併し是等は單に有志の義捐金に依るのであるから其の程度に於て限りがある故是非とも政府が特別の救護計畫をなさればならぬ其の經費は概算する所年に一千萬圓內外を要し國民の爲めに輕からざる負擔ではあるが此回の戰爭が若も我が勝利に歸して永く極東の平和を保障し國民の權利利益を增進させたことを思へばこの位の負擔に應じられぬとはないと思ふ吾輩は敢て當局者にこれが實行を望む（時事新報）

◉露廷の空望　露廷は昨今に至つてリネウイッチに空望を繫ぎ始めた恰も沙河大戰後にステッセル旅順陷落後にクロパトキン奉天敗衂後にロヂエストウエンスキーの成功を祈りたるが如き空望を抱いて居る併し總師拜任後まだ一回も大戰に接しないリネウイッチに露廷が望みを屬するは無理のないとであるが下手な博徒が赤裸々となる迄其の敗を知らないのと能く似て居る故に彼等の空望の生ずるに從つて我は實力を以て一々之れを打破し盡さればならぬ飽かしなければ平和の成立は期し難いこゝに於て我が國民の覺悟と決心がますゝ大必要になつて來た（東京朝日新聞）

◉休戰斷じて不可也　露國政府が米國大統領に向つて日本に休戰を承諾せしめんとを要請したと昨今專ら巴里で傳說せらるゝ吾輩は素より其の事實如何を知らぬが休戰は斷じて不可である戰敗者には都合か宜いかも知れぬが勝者の方では大いに考量を要さればならぬ殊に對手が譎詐權謀を以て得意とする國であるから油斷をしてはならぬ露國と休戰の規約を結ぶは恰虎狼と會食をするやうなものである斯んな危險千萬な事はしない方が宜い危きに近ざるが万全の策である勿論未だ彼より正式に休戰を申込んで來たのではあるまいがこの問題は早晩起つて來るに違ひない故に先づ我輩はこゝに其の所見を陳べて置くのである（讀賣新聞）

◉露國の動亂　極東戰局の形勢は直ちに其影響を全露國に及ぼして革命的火焰が盛んになつた其動亂は實に甚しいもので革命的の狂瀾怒濤は專政政治を根底より覆滅せずんば止まぬのである其これを鎭壓するものは唯だ軍隊の力を借りるより外ないのであるが今や其軍隊さへ革命的に加擔せんとして居る露國は外患の大に恐るべきものありて內憂の更に外患より恐るべきものがある斯くて露國政府にあるものは唯だ滅亡ばかりである（國民新聞）

◉露帝の薄志　ロヂエストウエンスキーとネボガトフの二將が日本海々戰の敗狀を露帝に電奏し且つ宣誓の上歸國しても善いか何うかと云ふとを伺つたに戰のことに就いては仁君の如き勅答をしながら歸國云云に就ては何んとも勅答をして來ない實に露帝は薄志の人である斯んな專制の君主ある露國と媾和交涉するはヒステリー症の婦人を相手として家の大事を謀るやうな者である謀るもの丶至難なる察すべきである（萬朝報）

御婦人

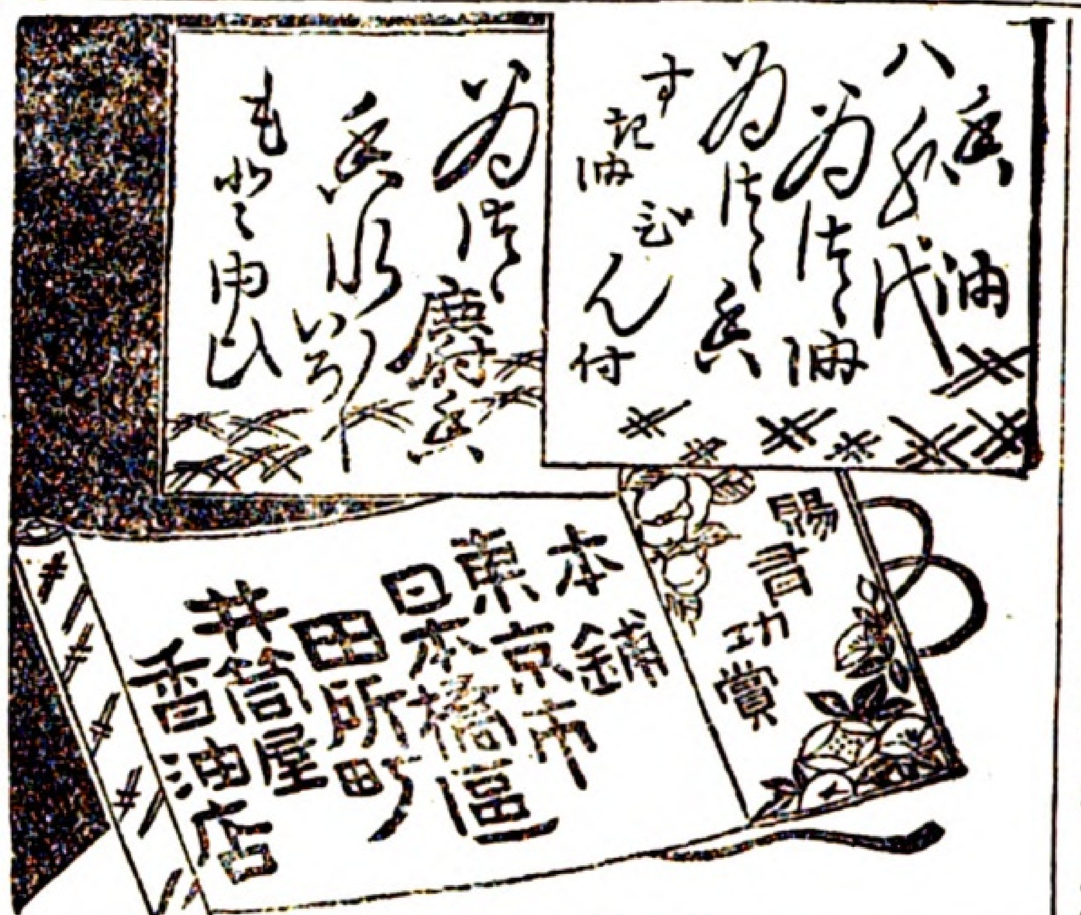
最も注意すべき家內の清潔は如何にして成効し得るか

デシン

を使用せよ本劑は日本で出來た殺菌の消毒劑洗濯を兼ねた唯一の消毒劑である夏季の衞生に最必要

使用を怠るな本劑の無き所傳染病と臭氣は來らん用法安全

各藥店にあり



消毒防臭劑

デシン

（原名デシンフエクトール）

奏効確實
用方簡便
無毒安全
價格低廉
藥店ニ有

西洋菓子

◎マシマロー
◎バナナクリーム
◎チヨコレートクリーム
◎フレンチスト
（レメンキス）

波濤形マシマロー
バルチック艦隊全滅紀念
東郷大將肖像石版畫付

東京赤坂田町
森永製

夏期中元　御進物用

高雅にして優美なる箱入鑵入等種々御座候間夏期の御進物用として至極適當の佳品なり且つ久しきに耐へ毫も變味等の憂なく眞に戰捷國の逸品なり

賣捌所

市內及び全國著名なる西洋食料品店又は菓子舖にて販賣仕り居候間御最寄にて御購求の程奉願上候

諸大醫處方調劑

夏期衞生之料
○香水。香油類
○雲南麝香
○匂袋。各種
○薰香。線香類
○かやいらず

簡便衞生機械
○吸入器各種
○體溫器各種
○灌腸器各種
○イルリガートル
○哺乳器各種
○乳吸器各種

內外藥種賣藥
高等化粧料
滋養飲料各種

東京市神田區今川小路三丁目爼橋通
電話本局一五一八
尾澤純良堂
藥劑師　大西橘三

小瓶全形

麝香印
ムスク香水
（大瓶一圓　中瓶六十五錢　小瓶廿五錢）

●本品の特色は芳香の永く保つ點に於て頗る高評也

東京日本橋本石町四
ホーサンン石鹼本舖
芳香藥種問屋
松澤常吉

日本女子大學校用
共立女子職業學校御用
日本女子美術學校御用

造花器械
造花用繪具各種
摘み細工原料
花簪原料
根掛原料
刺繡用金絲平金類
和洋リボン各種

定價表御入用の方は往復はがきにて申込の事

東京日本橋區横山町一丁目十六番地
天野卯兵衞商店
（電話浪花一六四三）

夏期斬新材料
舶來薄絹
シホン各種

夏向きの造花材料として最も適當に且つ眼新しき本品を發賣致候へば御入用の方は本雜誌名を書き添へ郵券五錢を送られ度し見本及本品にて製作せる造花の寫眞版共進呈可仕候

家庭教育編纂會◎每月一回發行◎石版彩色刷美本◎定價一部金六錢◎郵稅金五厘

家庭教育
繪はなし

發行元　東京神田錦町

第壹號既刊（一ヶ年前金郵稅共七拾二錢）

これは嬉戲歡笑の內に智德を約むる特美麗な白繪本を大取次刊行すから月ずつ發行する家庭の好い幼稚園の生徒等常に賞て小學校生徒の最も適當と存じます。

（名古屋）星野（東京）川瀨（東京）東京堂・北隆館（仙臺）松榮堂・至誠堂書店

尙友館書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜誌之新聞

●戰捷と女子の商業　戰後經營は容易なことではない殊に實業の方面に於ては大なる發展をしなければならぬ併し男子が盛んに貿易や銀行會社を創めても女子が例に依つて例の如くて家庭を整理することが出來ぬやうでは到底大事業は出來ない尤も家庭を整理すると云つても色々てあるが是非無くてならぬのは確實な經濟思想てあると思ふ是れは敢て實業家の家庭と許りに限つた譯ではない如何なる家庭を整理するにしても此思想がなくては充分其人をして後顧の憂ひなからしむることは出來ない故に完全なる家庭の整理者を作ると云ふ事は戰捷後の日本には唯に一家經營の上に於てのみならず國家經營の上に於ても決して輕々に看過すべきことてない今日は女子教育が盛んてあるが何うも女學校出の奥樣にも獨立心の少ないのが多いやうてある是れは教育の仕方にあるので現に角此回の戰爭に依つて日本の女子は正に大なる活動期を與へられたのてあるから此商業思想を養成すると云ふことが一家の經營上將た國家の經營上に缺くべからざる一要件てあると思ひます（女鑑、高悦學子）

●戰後の女子教育　戰後の女子教育は何うなるか軍備擴張などて經濟界に變動を來して衰へはすまいかと杞憂を抱く人もあるやうてあるが夫れ等の爲めに教育を忽諸に附すなど云ふことはあり得可からざる議論だと思ふ女子教育の必要なることは理論上よりも實際問題に徵するがよい高等女學校程度の教育が如何に著しく擴大せられたるかを見れば直ぐに分かることてある夫れは世間一般が女子教育の必要を認め社會の種々なる方面に女子を採用するやうになつて來たから女子も進んで修學を望むやうになつて來たので先づ戰後だとても女子教育の萎縮するやうなことはあるまい現に角女子に適當なる教育を施し之れを社會の有益なる事業に從事せしむることは目下の急務であると信じて疑はぬのである（女學世界、中川謙次郎）

●愉快に仕事をする方法　第一仕事は元來愉快に爲し得べきものなりとの一事を先づ堅く信じて疑はざるに在り第二仕事の不愉快が健康の勝ざるに原因することも多し故に健康に注意をする事第三內に不安あれば愉快に仕事を爲す能はざるものなり故に仕事を愉快になさんと欲するものは義務に對する不平は勿論の事總て平安の心を以て仕事に對せよ第四愉快に仕事を爲さんとすれば正直の心を失ふことなかれ常人の通弊として仕事は兎角不正直勝のものなり第五わが物と思へば疑し命の醫人間爲事皆然らざるはなし己が從事する仕事を以て總て我物と心得よ第六火の盛んに燃ゆるを見れば如何にも心地よく愉快らしく見ゆるに非ずや吾人の仕事も亦斯くの如し其仕事に從事する時は火の盛に燃ゆるが如く其全力を之れに傾注せよ第七已が手にせる仕事は單に片付け終はるを以て能事了れりとなすことなく成るべく美はしき成績を擧ぐことを勉めよ斯くすれば覺へず知らず愉快に仕事は出來るものなり第八何事にても勝つ事は愉快なるものなり愉快に仕事をなすの秘訣亦たこゝに在るを知らずや然らば如何にして仕事に勝つか他なし敏捷と快暢とを以て今日爲すべき事を今日に爲し終るに在り今日の爲すべきことを明日に延ばすものは常に仕事に制せらる背越の仕事ほど吾人をして不快ならしむるものはあらず要するに怠れ丈けの約條を堅く守つて仕事に從事したならば必ず成功者として立派に世の中から尊敬さるゝものとなり得るてあらう（實業の日本、白雲生）

ライオンはみがき

慈善券引換に付愛用諸君に謹告

一金壹萬六百四圓貳拾九錢六厘
但自明治卅七年一月至明治卅七年十二月ライオン歯磨小袋壹千六拾萬四千貳百九拾六袋賣捌きに付此慈善券總金額
內金四千六百參拾九圓六拾七錢八厘
但同上年間ライオン齒磨慈善券附空袋四百六拾三万九千六百七十八袋買上金額
差引殘金五千九百六十四圓六十壹錢八厘
右之通に御座候也

曩に弊店は聊か公益を助け慈善を奬勵せんとの微意を以て其發賣のライオン歯磨に慈善券を添付し此空袋を總ての慈善事業に寄附せらるゝ時は之を現金に引換へ無益に屑籠に投棄せられ廢物となるべきものを轉じて有益なる事業に利用せらるゝの法を設けしより幸に愛用諸君の同情を得續々各種の慈善事業に寄贈せらるゝに至りたるは實に弊店の光榮として感謝に堪へざる所なり
然るに昨卅七年十二月を以て引換滿期となりたる慈善券附空袋にして未だ引換を終らざるもの前掲の如し之弊店の素志に悖り誠に遺憾なるを以て更に引換の期を七月卅一日迄延長せり依て尙空袋を有せらるゝ諸君は速に慈善公益の事業に寄附せられんとを且つ此期間內に遲滯なく本支舖に送附し引換を求められんとを併せて江湖諸君に希望する所なり弊店は之に因り以て第四回の決算を了せんと欲す
猶從來の成績に徵するに多數の中自然破損紛失等の事あり其幾分は廢物となり發賣全部の引換を了する能はざるは免れざるが如し之弊店當初の微意に反し甚だ遺憾に感ずるを以て是等廢物となりたる分の金額は（如何なる事業に投ずべきか）前回の例に倣ひ廣く愛用諸君の高見を求め其方法を確定せんとす願くは江湖愛用諸君此微意を諒し七月末日迄に東京本舖へ續々示敎を寄せ給はんとを切に希ふ
追而金額及如何なる事業に投ずるの可なるやは確定次第發表すべし

明治卅八年六月
ライオン歯磨發賣元　小林富次郎　敬白
本舖　東京市神田區柳原河岸
支舖　大阪市東區博勞町

商品案內 無代進呈

○銀側兩蓋之部　流行薄手形
價八圓半　瑞西石入向爪アンクル
價十圓半　同懐石付上向アンクル
價十三圓半　同裏三枚蓋石付上向爪
價十四圓　米國中型付切天竜向爪
價十七圓半　米國中型付上等品

○金側兩蓋之部　流行薄手形
價三十三圓　瑞西國六金側御婦人持
價六十九圓　瑞西大金側中形紳士持
價七十九圓　米國製大金中形紳士持
價九十五圓　瑞西18金側形18紳士持
價百十五圓　米國製18金形18紳士持

東京市京橋區銀座一丁目
電話新橋（二三三一）
伊勢伊時計店

高等香油 チエリーオイル

紳士貴婦人令孃用

品は無色透明さらくとして此の如く香氣は香水に異ならず故に紳士は勿論、貴婦人令孃方に目下大ゐに流行せるを彼の東發用としては非常に高評を博しつゝあり
定價八十五錢、四十五錢、廿五錢（送料各十錢）
賣捌は全國有名なる小間物化粧品店にあり
發賣元　東京日本橋區本町二丁目　高橋初次郎　特電話四一三番

ゑらが赤毛の人に告

定價小瓶一組五拾錢中瓶一組壹圓送料十錢
該液劑（媒染液揚染液）は獨逸國醫學博士ビース氏の新發明になり從前有ふれたる白毛染粉とは異り使用方は極簡易僅々十分間に美黑色となり數月間不變化の功力を有し皮膚に無害なるは小店の保證する所牝白毛赤毛は御試用の上不思議の功能を知られよ
明細書希望者は郵劵二錢封入申込あれ
發賣元　東京市京橋本材木町三ノ四　岡田商店

いろは洗粉

本品は「ホーサン」製なるを以て皮膚を滑やかにし色を白くし尙頭髮を洗へば光澤を出し頭髮をすなをにすると他の品の遠く及ばざる所なり
本品は各所の小間物店藥種店荒物店にて販賣致居候に付御購求の程奉願上候
東京市日本橋區蠣島町一の七十　飯田旭堂

醫院案內（順ぐりの事）

小兒病診療　宅診午前　往診午後
淺草區福井町貳番地
醫學士　內田愼太郎　電話下谷七一八番

山口眼科醫院
東京神田錦町壹丁目　電本七一五
診察午前午後　入院隨時
院長　醫學士　山口秀高

內科一般
東京神田區美土代町三丁目十七番地
午前宅診　午後往診　板垣亨
電話本局貳千九百七十番

內科特に胃腸病診療　體格檢查運動療法
院長　ドクトル　川瀨元九郎
麴町區平河町二十八番地　電話番町八百貳拾貳番
川瀨醫院

婦人科產科榊病院
院長　醫學博士　榊順次郎　每日午前診察
副院長　醫學士　久保德太郎　每日夕刻診察
東京麴町三番町卅三（電話番町三九五）

齒科治療　橫濱出張
京橋區南金六町一番
毎日午前八時より午後五時迄
毎月曜日横濱市高泉町十八番船橋方
名倉齒科醫院
電話新二二六三

犬猫診察
病苦に惱む可憐なる無告の諸動物を治療す
診察午前　本院　入江家畜病院
麴町區飯田町五丁目二十六番地（國學院横通り）
診察午後　分院　本鄉家畜病院
本鄉區湯島新花町九十九番地（切通公番より南半町）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京市麹町區錢瓶町（常盤橋内）
日本興業銀行
電話本局 三、三〇〇番 四一番（特）三七番 一〇二番

一定期預金 年五分
一當座預金 日歩七厘
一特別當座預金 日歩一錢

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話（特）本局六七三番

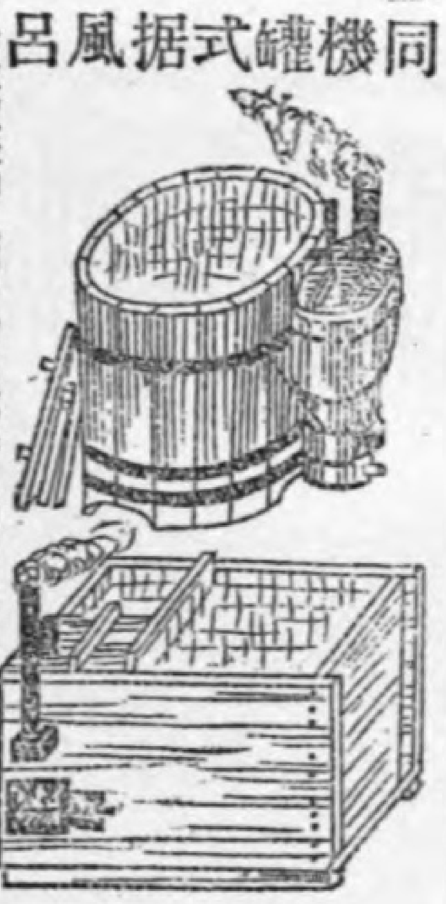
定期預金 六ヶ月以上 年五分三厘
當座預金 百圓に付日歩 八厘
特別當座預金 同日歩 壹錢壹厘

米國齒學博士ジャス氏發明
齒藥之王
一六散
日本諸大醫實驗頌讃功能保証

齒の痛直に止る保証
齒の腐蝕崩碎を止る
齒の惡熱を去る
齒の動きを能く締る

價拾錢廾錢送料貳錢
各藥店に取次
毒にならず口の荒も共に治る香でもよし
東京木挽町九丁目八番地
木原山石室藥房

特許 ◉第五回博覽會褒賞賜

◎湯屋溫泉用釜◎料理店理髮店用湯風呂◎豆腐箱
同機罐式据風呂

◎定價表御入用の方は郵劵二錢御送付あれ
製造 日本橋區蠣殼町二丁目十五番地 名和商店
發賣元 神田區和泉橋通松永町十八番地 名和支店 電話浪花千百七十七番

御進物用
絹糸眞綿組糸一式
其他御編物用鶴印レース糸
最近流行

好評を賜
東京市京橋區南傳馬町京橋際
鶴岡助次郎支店
電話本局一七四二番

本店 神田區小川町電話本局四八九番

支店 京橋銀座貳丁目電話新橋八三三番

東郷花 其他流行花束 花響盛籠製造
本郷三丁目三十一番地
東郷造花店

寫眞撮影 淺草公園 江崎

◎牛豚肉販賣及西洋料理◎
◉品質佳良の肉類廉價に販賣候
◉配達は迅速に且つ正確に致候
◉滋養と風味の西洋料理調製候
◉西洋料理出前は格別相働き候
◉米店は精撰の白米廉價販賣候
◉御注文は電話又は葉書て願候

小石川表町廿二番地 電話番町六五九 西川本店
本郷區駒込東片町五番地 電話下谷二三七一 西川支店
小石川表町十一番地 電話番町一四六一 西川洋食店
小石川表町十八番地 米穀商 西川嘉門

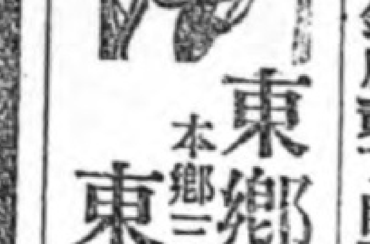
東京日本橋區長谷川町
卸部 美濃磯本店 電話浪花二八五九番
小賣部
本郷區本郷五丁目 美濃磯本郷支店
淺草區諏訪町 電話下谷一四一五番 美濃磯淺草支店
日本橋區佐内町 美濃磯佐内町支店
神田區小川町 美濃磯神田支店
深川高ばし際 美濃磯支店
芝區新櫻田町 小田商店
牛込區神樂町一丁目 伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目 伊澤支店

製造發賣元
東京日本橋區通油町十九（電話浪花一四六一）
銅器物問屋 南部鐵瓶販賣
石川商店

院長 醫學士 鳥山南壽次郎
午前診察 午後往診
京橋區鎗屋町十一番地
電話新橋千七百四十六番
鳥山内科院

本院ハ種々ノ難病ニ對シ丁寧ナル診察ト病人ノ相トヲ見テ全治ノ見込アレバ獨得ノ新療法ヲ施シマス特ニ婦人方ノ腦脊髓神經病等ニ對シテハ獨得ノ精神的療法ヲ施シ非常ノ効顯ガアリマス
性相的應用 精神的治療 内外科一般
東京芝愛宕町一ノ一巴學校側（電話新橋四〇四五）
森山醫院

神田區西今川町三番地（電話本局三〇一九）
内科病特に腦脊髓神經疾患
院長 ドクトルメヂチーネ 峰秀世
峰内科醫院


芝區新堀芝ぞの橋
太田眼療院
眼科一般並に左の術は本院の特技也
いれめ うごき自由 あきとじ自在
●白き目ぼし染法は一見如正眼
●説明書は郵劵貳錢を要す

産科婦人科專門
ドクトル樋口繁次
歸朝後於本院診療に從事す
各科診察從前の通
芝愛宕電 新二六四
東京病院

耳鼻咽喉科診療
淺草區向柳原壹丁目貳番地（左衞門橋通横町）
中村醫院

淺草區（厩橋通り）北三筋町五十九番地
診察時間 午後三時時ヨリ六時迄
白木耳鼻咽喉科院

◉婦人科 ◉小兒科專門
午前宅診 午後往診
東京市麹町區飯田町四丁目九
女醫 鷲山彌生

◉水原産科婦人病院
○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百〇九番）○外來診察午前中○入院往診随時○同院に私立産婆學校の設あり

神田三崎町三ノ一 新三崎橋前
◉診察午前
るゐれき 切らずになをす
◉心臟病
◉脚氣 珠に脚氣病 轉地不必要
千葉内科院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（明治三十八年七月五日發行（毎月五日二十日二回））

◎特約販賣店
◎東京堂　神田區表神保町三番地
◎東海堂　京橋區銀座四丁目

洗濯用ワッセル

●此ワッセルは油じみ油あか如何なる汚れても揉まずに必ず落る石鹼曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります

●用法は湯一升に二匁（小杯へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し揉ずに置き後湯又は水にて洗へば自然に脱ますシャツの如きは（拾貳ヶ入）一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髮は一匁五分を一升餘の湯に溶解してかもじを洗ふ用に揉ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具を拭き掃除にも有効です

定價　拾貳ヶ入 金拾五錢　六ヶ入 金八錢　袋入三錢

芳香御肌洗粉ワッセル

●此肌洗粉ワッセルは當時歐米各國貴族社會に流行する芳香類を加味し製造せしものなれば朝夕御使用の方は香氣馥郁として肌持晴々す又おしろいしたを用ひずして御化粧が出來ると妙なり

定價　最上 金七拾五錢 金貳拾錢　普通 五拾錢 六錢　參拾錢 三錢　拾七錢

東京市京橋區三十間堀三丁目
英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌洗ひこ芳香ワッセル製造元
三友商會
電話新橋千七百十二番

登錄 商標 さ

市内ハ御用命ノ節御一報次第何時にても參上

羽おり紐 華しん

佐竹組紐舗

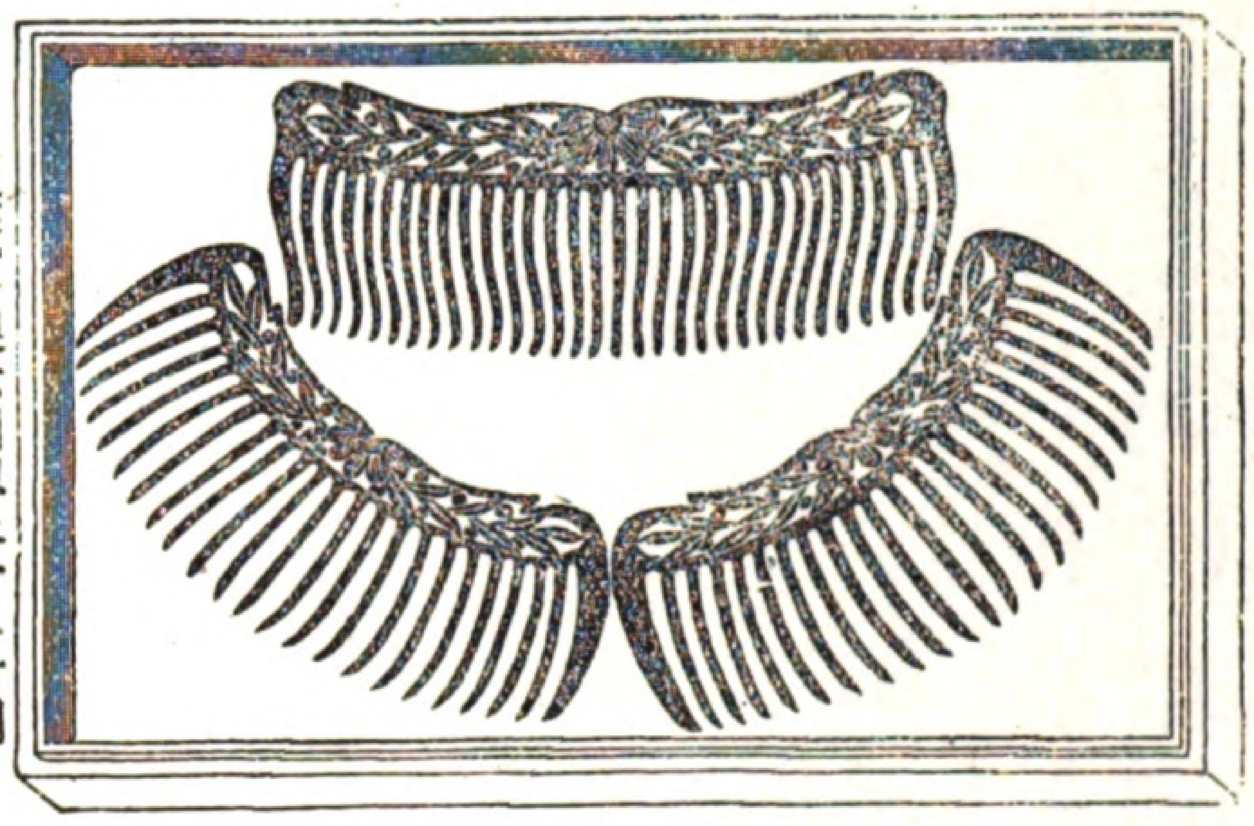
定價表ハ御申越次第呈上

中瓶 壹本拾五錢

二八水は進步せし化粧水の隨一なり
効能は世間已に定評あり

花王石鹼本舗
東京馬喰町
長瀬富郎製品

東髮用三枚櫛



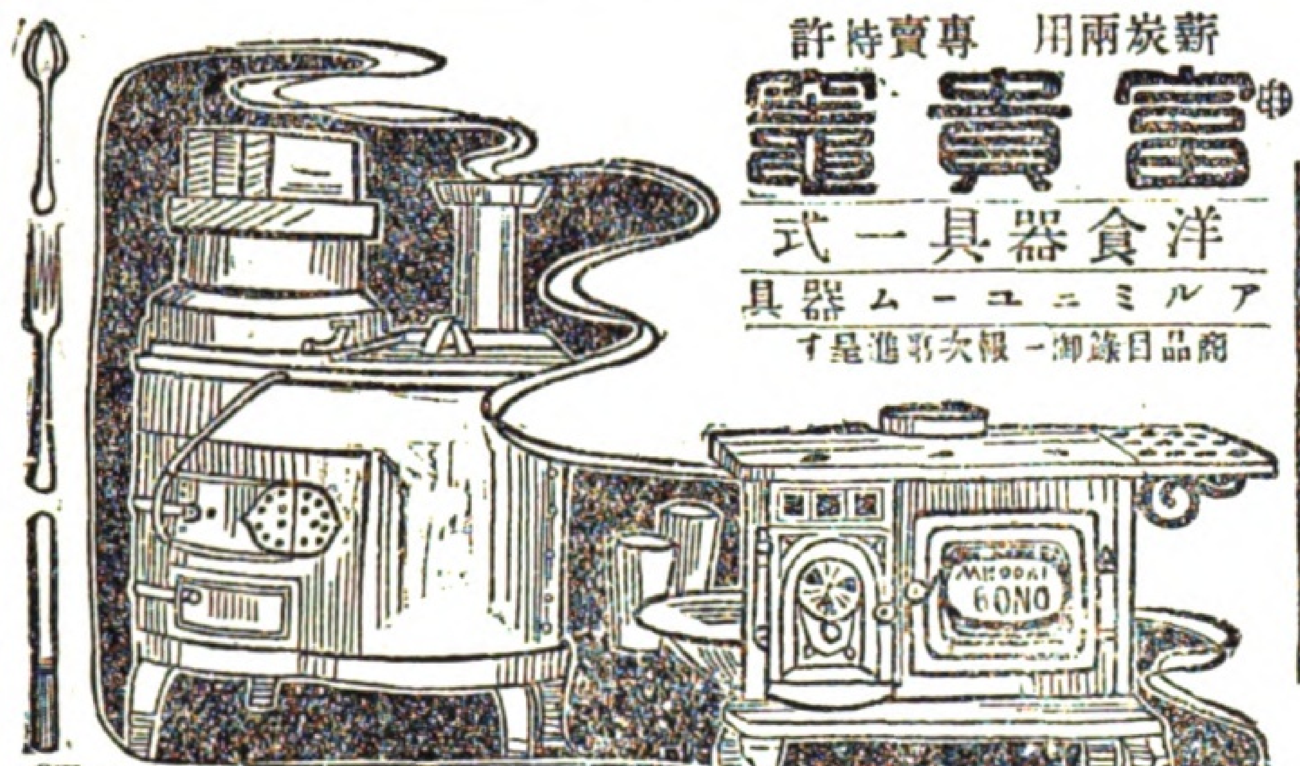
定價（黑鼈甲製六圓以上十五圓 ゴム製四拾錢以上壹圓半）
●送料内地拾錢清韓臺灣三十錢

東京市京橋區尾張町
白牡丹本店
電話新橋五五一番

新炭兩用　專賣特許

富貴竈

洋食器具一式
アルミニューム器具
商品目錄御一覽次第進呈す

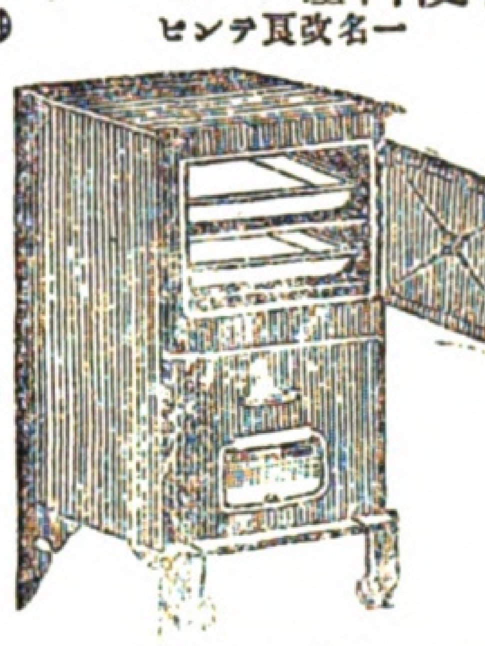


阿部彥四郎商店
淺草茅町淺草橋際電話下谷一九二三番

特許

輕便料理ストーブ

一名改良テンピ



和洋割烹兼用
輕便にて完全に料理ストーブの効用を爲す和洋料理に用ひ至極便利頗る妙なり
定價小四圓貳拾錢大五圓八十錢

舶來香油

パール

貴婦人用　紳士用

歐米化粧品直輸入商
東京八丁堀（花屋敷通）
平尾分店
電話浪花一一一〇

頃の海戰實況寫眞は唯本帖あるのみ

東郷大將伊東大將上村中將題字（征露寫眞書帖臨時增刊）

大海戰寫眞帖

（空前の大珍品）

●本帖は今回の大海戰に參加せられし海戰寫眞の專門家機關大監關重忠氏の撮影數百枚中より精選せる寫眞其他市岡技師海軍上村片岡兩提督の秘藏を以て成る

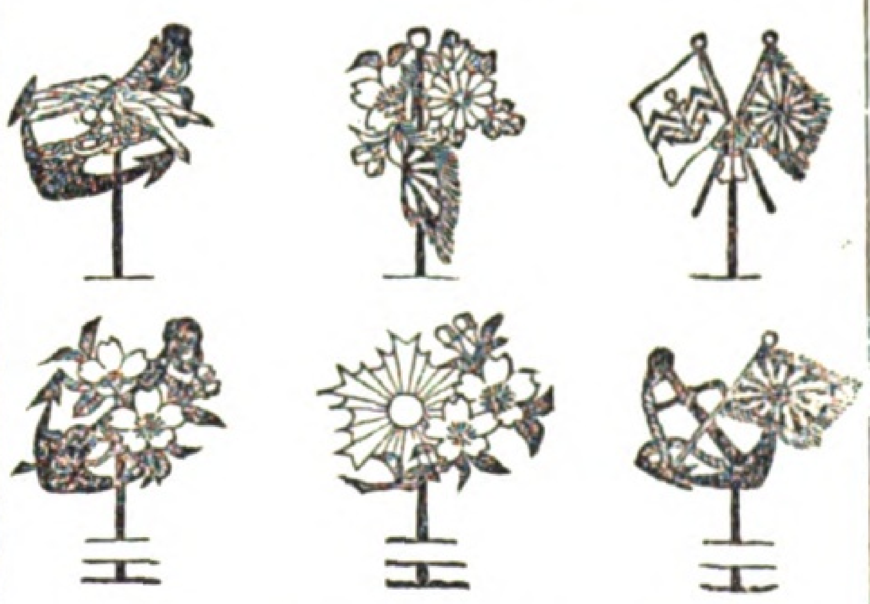
◎口給四十枚其中光澤寫眞版四百頁は眞に千古無類他の想像書とは雲泥の相違…

◎寫眞は皆實戰の眞殊に我各艦中玉座艦隊の勇進奮戰猛擊を始め寫眞の戰雲漠々砲烟濛々怒濤洶湧水雷襲擊朝の景夕の景夜の景提督決死の寫眞等珍品滿幅尚名將百餘名の肖像添ゆ眞に萬世不滅（記事大海戰全史）

價廿錢郵稅貳錢

東京麴町有樂町三丁目　實業之日本社　賣捌各地書店

戰勝紀念ピン



金銀の地金に七寶の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の紳士淑女たちは各その胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

定價（純銀製 一個 金三十五錢以上 餘は御好み次第迅速調製可仕候）

手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠を凝らしあれば世の紳士たちは洋服に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

此圖案の外陸海軍連勝にちなめる斬新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候

宮内省御用達
玉寶堂
東京市下谷區池の端仲町
電話下谷（特九六五番 一二四四番）

◎精巧なる裁縫ミシン

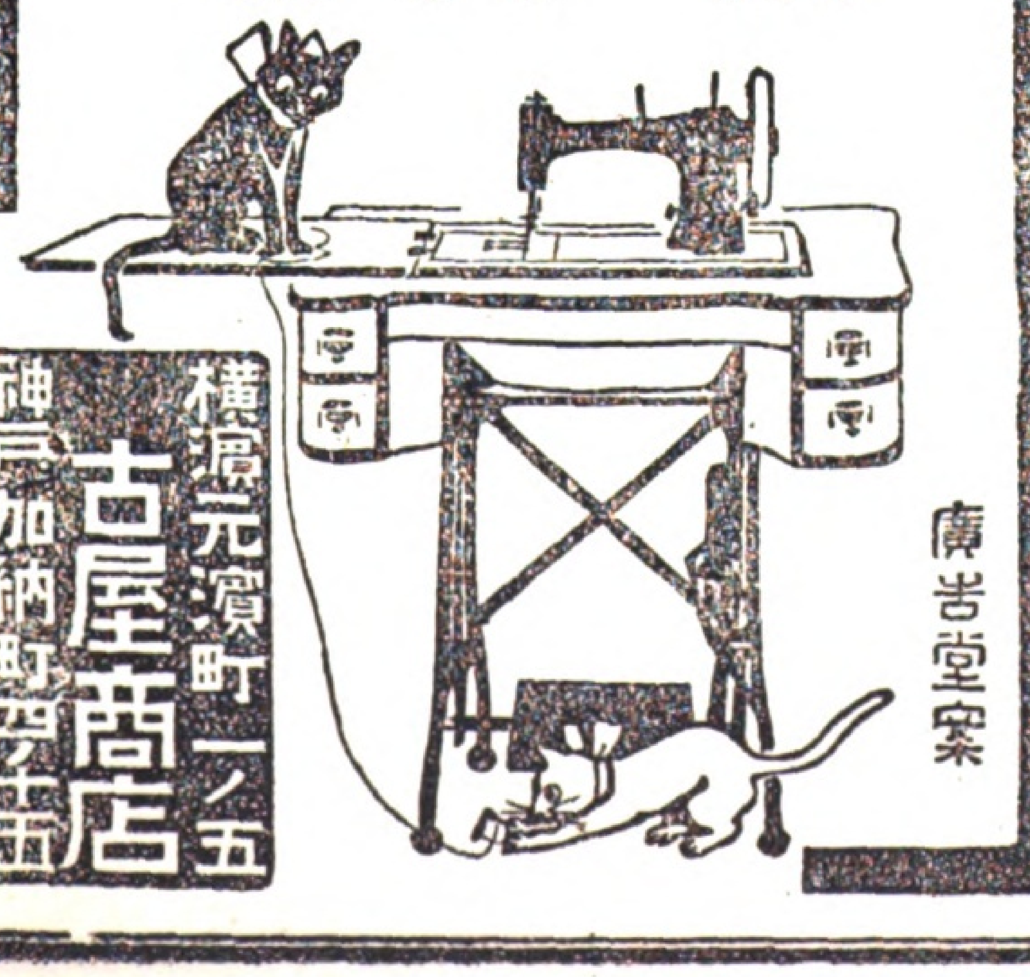
構造堅牢運轉圓滑使用便利觀美麗なるはホワイト會社ガ三十年來十一回の改良を加へたる結果にして大阪博覽會に數十臺納品せり

◎ホワイト印
足踏　定價金五十三圓より九十圓まで
手廻し　同金二十九圓より卅七圓まで

格安品　ドメスチック印　ニューホウ印

◎家庭用テーラー用蛇の目等新荷到着候續々御注文の程願上候外觀の美麗なるは家庭用ミシン懐の廣くして使用に便利なるはテーラー用ミシン

東京取次店銀座二の九　折田福四郎



廣告堂案

横濱元濱町一ノ五
神戸加納町四ノ五
古屋商店

愛國婦人廣告取扱

京橋區數寄屋橋外	弘報堂
神田區千代田町	博報堂
京橋區南大工町	一星社
京橋區八官町	廣告社
日本橋區上槇町	萬年社
日本橋箱崎町	栗原九助
京橋區宗十郎町	正路喜社
京橋區日吉町	帝國通信社

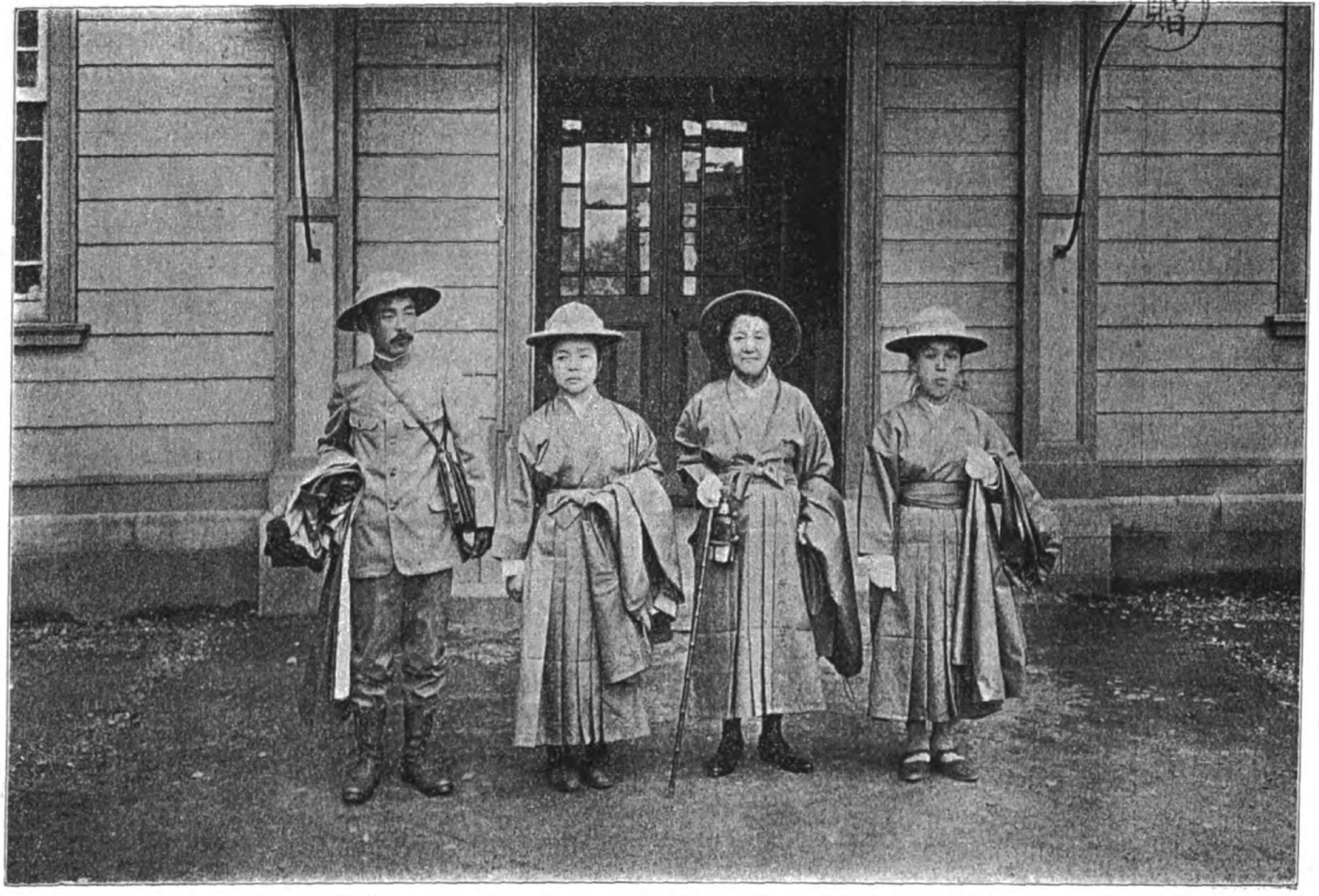
發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　愛國婦人會内

印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

愛國婦人第八十二號附錄

明治三十八年七月五日發行（毎月二回五日廿日）
明治三十五年三月二十七日　第三種郵便物認可

寄贈



富樫眞喜子　奥村五百子　野中彌知子　手島益雄
（記事參照）

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　愛國婦人會內愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN